

令和6年度岡山県3R等WEB調査報告書

岡山県

令和7年3月

目 次

I 調査概要	1
1. 調査方法	1
2. 回答者属性	1
3. 調査実施期間	1
II 調査結果	2
1. マイバッグについて	2
2. 海ごみ問題について	7
3. プラスチックごみについて	23
4. 食品ロス問題について	32
5. 環境配慮商品について	45

令和6年度岡山県3R等WEB調査

I 調査概要

1. 調査方法

インターネットモニターを利用したWEBアンケート調査

2. 回答者属性

- ・本調査対象:1,300 サンプル
- ・岡山県内の地域に居住する 15-79 歳の男女
- ・地域区分は、次の単位とする。
 - ①都市部(岡山市、倉敷市)
 - ②沿岸部(玉野市、笠岡市、備前市、瀬戸内市、浅口市)
 - ③内陸部(上記以外岡山県内 20 市町村)
- ・割付:各地域区分ごとに概ね男女 200 ずつとなるように割付を行った。

回答者属性詳細

(1)性別

	男性	女性	合計
回答数(人)	660	640	1,300
割合(%)	50.8	49.2	100.0

(2)年代別

	10-20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
回答数(人)	152	240	289	323	296	1,300
割合(%)	11.7	18.5	22.2	24.8	22.8	100.0

(3)地域別

	都市部	沿岸部	内陸部	合計
回答数(人)	477	373	450	1,300
割合(%)	36.7	28.7	34.6	100.0

3. 調査実施期間

令和7年2月14日(金)～2月23日(日)

(備考)合計数値は、四捨五入の関係で、図表中の数値の合計と一致しない場合がある。

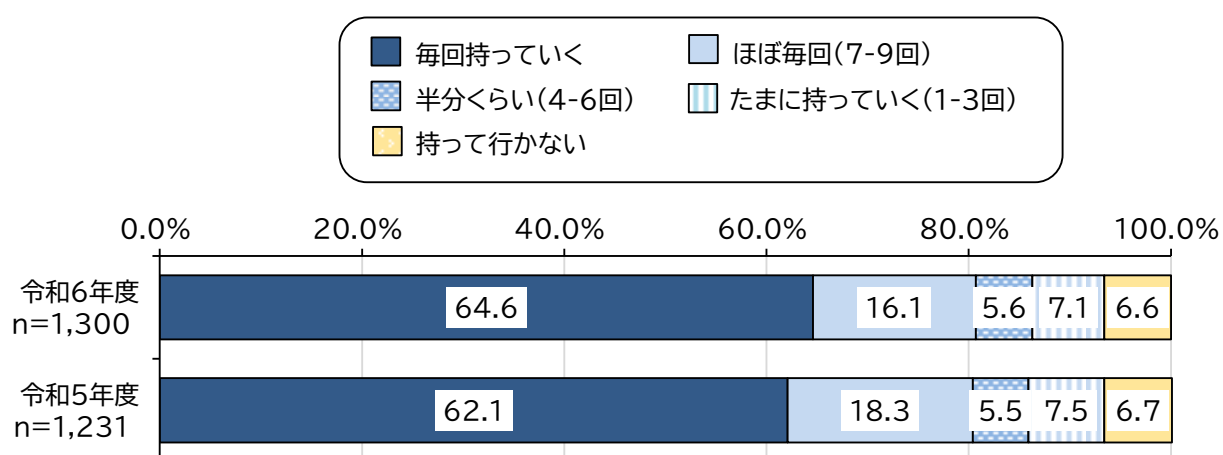
Ⅱ 調査結果

1. マイバッグについて

問1. あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか。
(買い物 10 回のうち、マイバッグを持って行く回数)

買い物のときにマイバッグを持っていく回数について、「毎回持っていく」と回答した人の割合が64.6%と最も高く、次いで「ほぼ毎回(7-9回)」(16.1%)、「たまに持っていく(1-3回)」(7.1%)などの順となっており、全体平均回数では10回中8.22回(令和5年度:8.14回)という結果となった。

●令和4年度は調査なし

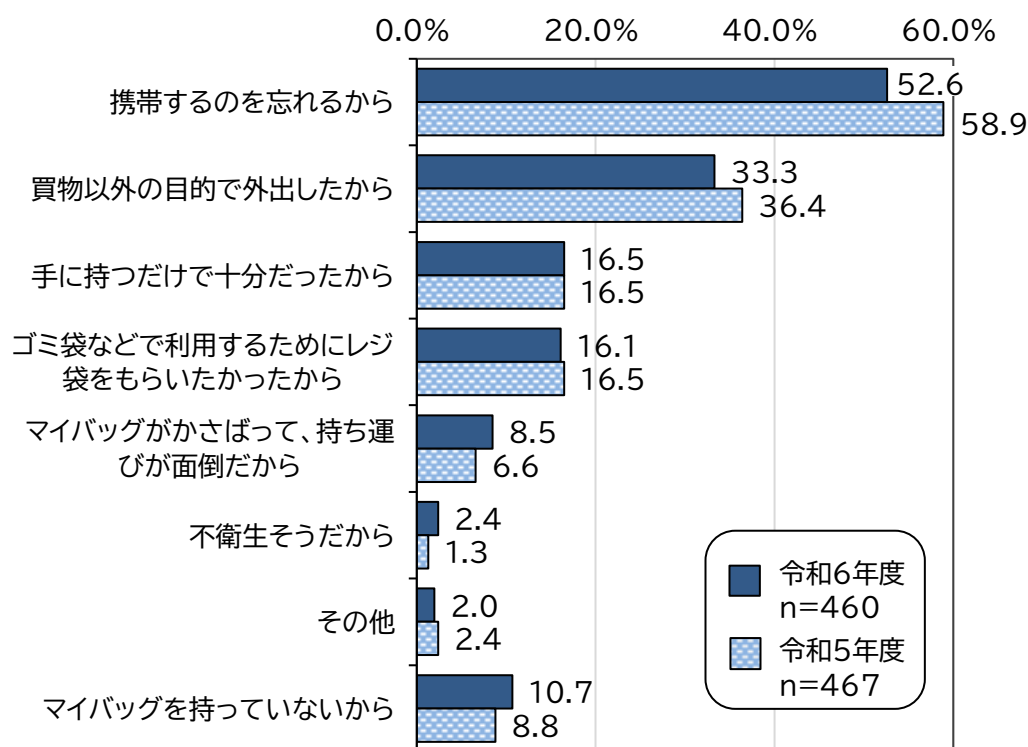


問2. マイバッグを持って行かない(行けない)時の理由をすべてお選びください。(複数回答)

※n=問1で「買い物10回のうち、マイバッグを持って行く回数9回以下」と回答した人

買い物のときにマイバッグを持って行かない(行けない)時の理由について、「携帯するのを忘れるから」と回答した人の割合が 52.6%と最も高く、次いで「買物以外の目的で外出したから」(33.3%)が続いている。

●令和4年度は調査なし

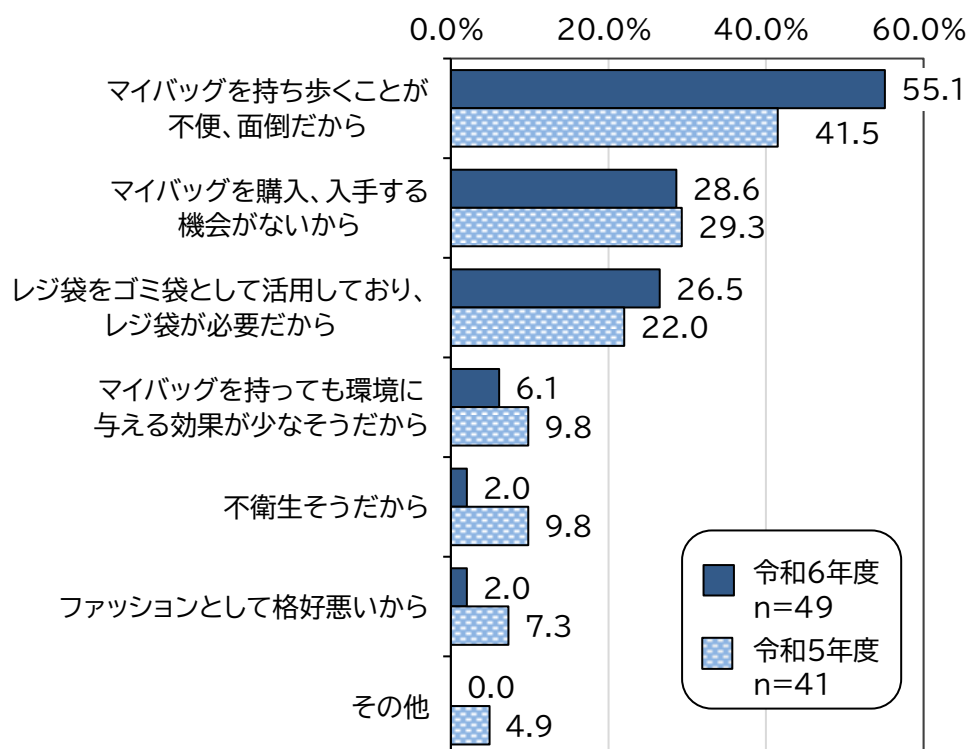


問3. マイバッグをお持ちでない理由をすべてお選びください。(複数回答)

※n=問2で「マイバッグを持っていないから」と回答した人

マイバッグを持っていない理由について、「マイバッグを持ち歩くことが不便、面倒だから」と回答した人の割合が 55.1%と最も高く、次いで「マイバッグを購入、入手する機会がないから」(28.6%)、「レジ袋をゴミ袋として活用しており、レジ袋が必要だから」(26.5%)などの順となっている。

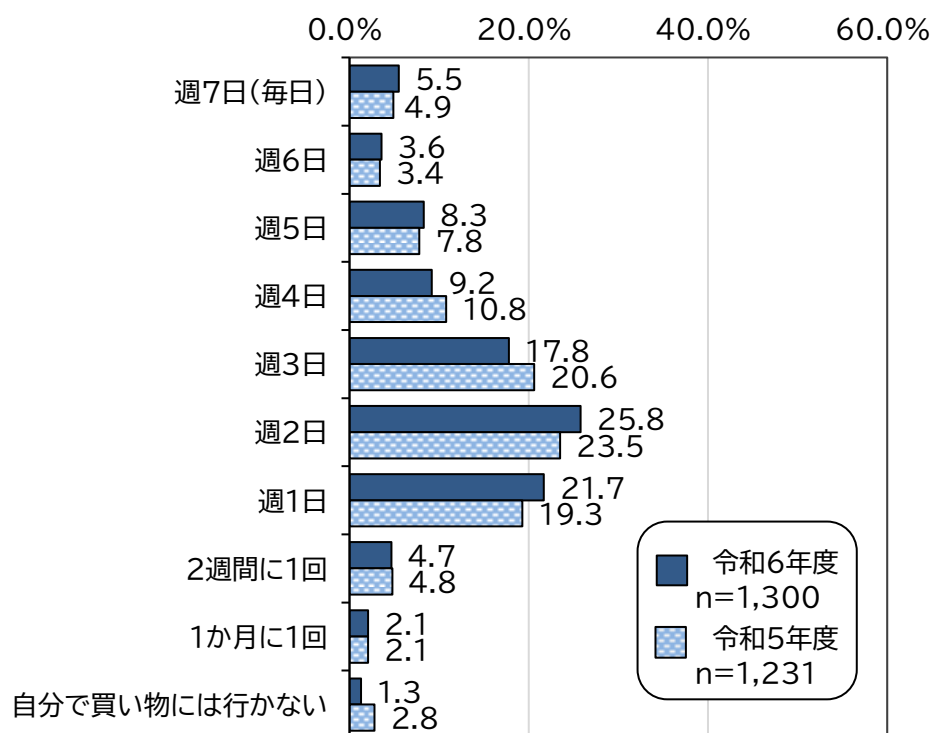
●令和4年度は調査なし



問4. あなたは普段、どれくらいの頻度で買い物に行きますか。(単数回答)

買い物に行く頻度について、「週2日」と回答した人の割合が 25.8%と最も高く、次いで「週1日」(21.7%)、「週3日」(17.8%)などの順となっている。

●令和4年度は調査なし



問5. あなたは買い物に行くときにレジ袋を購入しますか。
1回の買い物のうちに購入する平均枚数でお答えください。

※n=問4で「自分で買い物に行かない」と回答した人は除く

1回の買い物でレジ袋を1枚購入する人は26.3%、レジ袋を購入していない人(0枚)は73.7%となっている。

また、レジ袋購入枚数をマイバッグ買物持参回数別でみると、マイバッグを持っていく回数が多い人ほど、レジ袋を購入していない人の割合が高くなっている。

さらに、レジ袋年間購入枚数について、マイバッグ買物持参回数別でみると、マイバッグを持っていく回数が多い人ほど、レジ袋の購入枚数が少なくなっている。

マイバッグを買い物に持って行く回数×レジ袋購入枚数・年間消費枚数

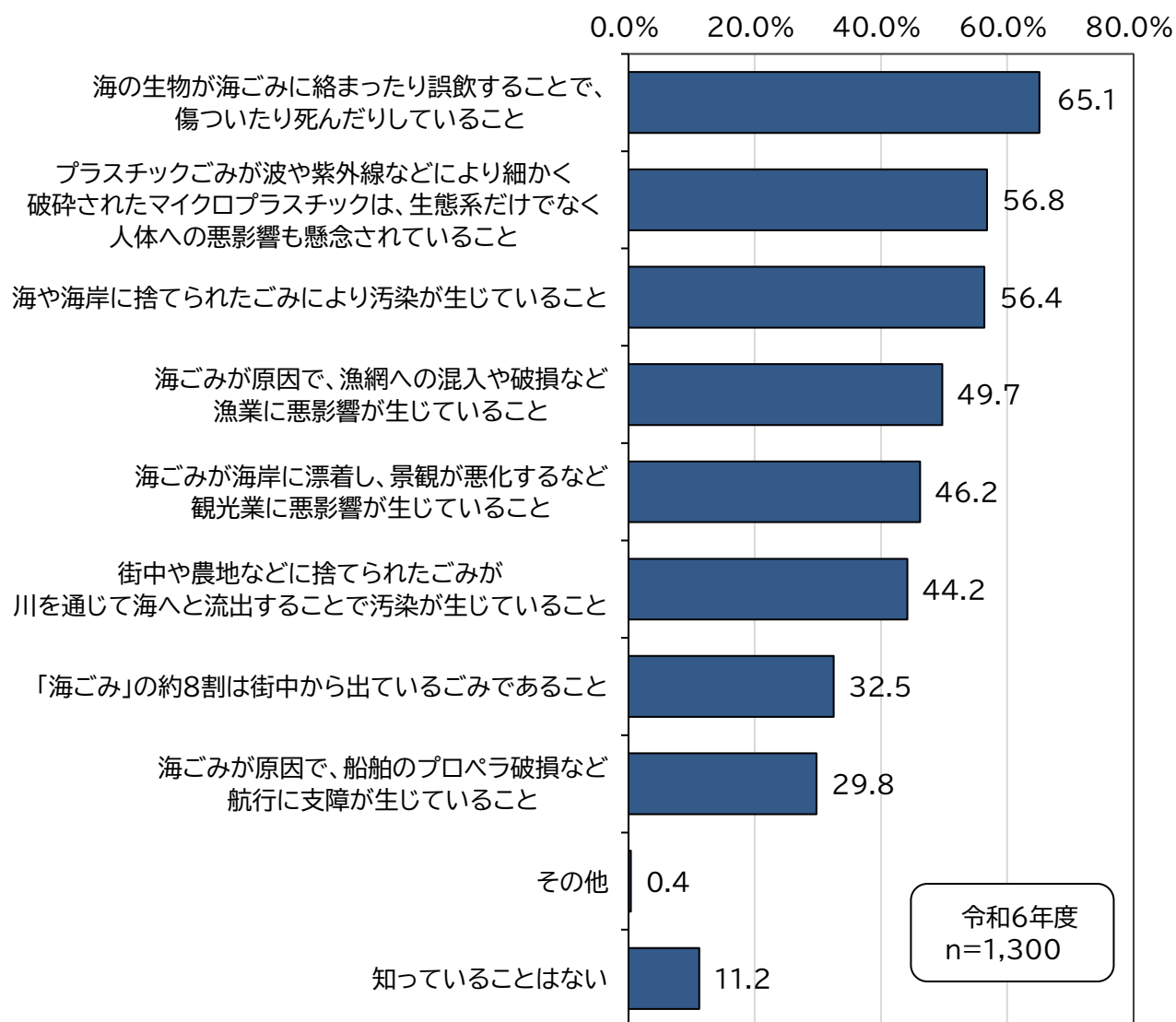
	n	レジ袋購入枚数 (%)		年間消費 枚数 (枚)
		1	0	平均
		枚 購 入	枚	
令和5年度全体	(1,196)	27.7	72.3	51
令和6年度全体	(1,283)	26.3	73.7	58
マイ バ ッ グ 持 参 回 数	毎回持っていく	5.6	94.4	16
	10回中7-9回	56.9	43.1	121
	10回中4-6回	78.1	21.9	148
	10回中1-3回	68.1	31.9	137
	持っていない	68.8	31.2	164

※年間購入枚数は、問4 買い物に行く頻度を年間日数に変換し、それにレジ袋購入枚数を乗じたもの

2. 海ごみ問題について

問6. あなたは海ごみ問題について、どのようなことを知っていますか。(複数回答)

海ごみ問題に関して知っていることについて、「海の生物が海ごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること」と回答した人の割合が 65.1%と最も高く、次いで「プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること」(56.8%)、「海や海岸に捨てられたごみにより汚染が生じていること」(56.4%)などの順となっている。

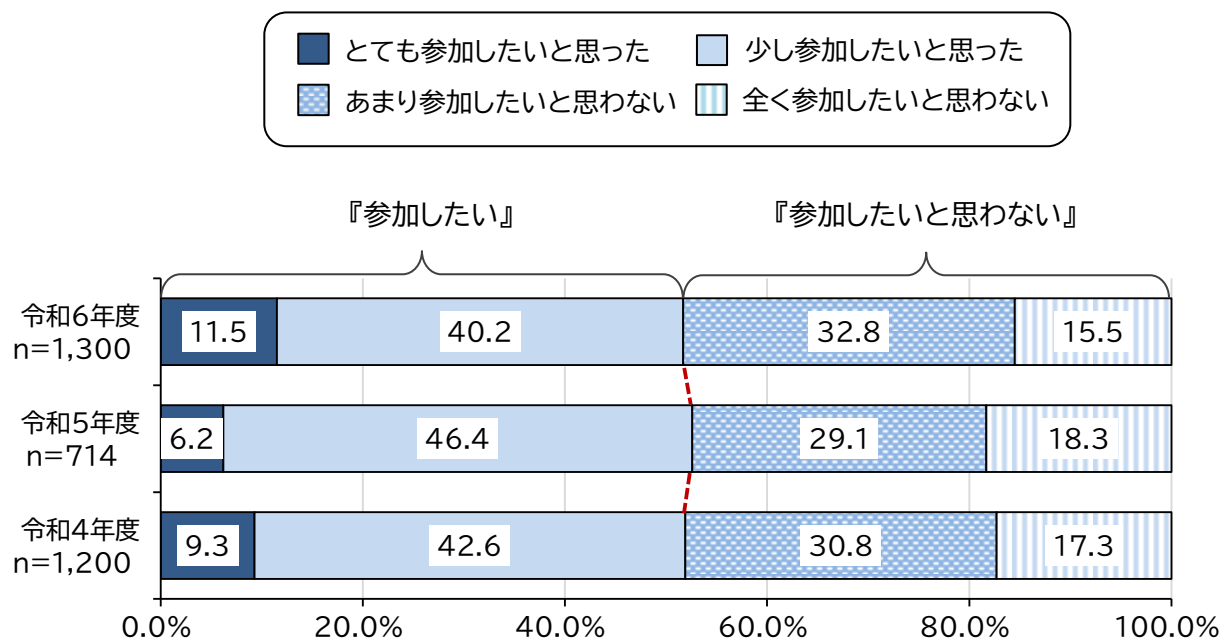


地域別にみると、「プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること」、「海ごみが海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること」と回答した人の割合は都市部と沿岸部では 10 ポイント程度の差があった。

	全 体	問6 海ごみ問題に関して知っていること							
		海の生物が海ごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んでいること	プラスチックごみが波や紫外線などにより細かく破碎されたマイクロプラスチックは、生態系だけでなく人体への悪影響も懸念されていること	海や海岸に捨てられたごみにより汚染が生じていること	海ごみが原因で、漁網への混入や破損など漁業に悪影響が生じていること	海ごみが海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること	街中や農地などに捨てられたごみが川を通じて海へと流出することで汚染が生じていること	「海ごみ」の約8割は街中から出ているものであること	海ごみが原因で、船舶のプロペラ破損など航行に支障が生じていること
全 体	1,300 100.0	846 65.1	738 56.8	733 56.4	646 49.7	600 46.2	575 44.2	423 32.5	387 29.8
都市部	477 100.0	284 59.5	241 50.5	254 53.2	225 47.2	194 40.7	188 39.4	143 30.0	129 27.0
沿岸部	373 100.0	252 67.6	235 63.0	225 60.3	196 52.5	188 50.4	176 47.2	130 34.9	114 30.6
内陸部	450 100.0	310 68.9	262 58.2	254 56.4	225 50.0	218 48.4	211 46.9	150 33.3	144 32.0
	全 体	その他		知っていることはない					
全 体	1,300 100.0	5 0.4	146 11.2						
都市部	477 100.0	2 0.4	67 14.0						
沿岸部	373 100.0	1 0.3	40 10.7						
内陸部	450 100.0	2 0.4	39 8.7						

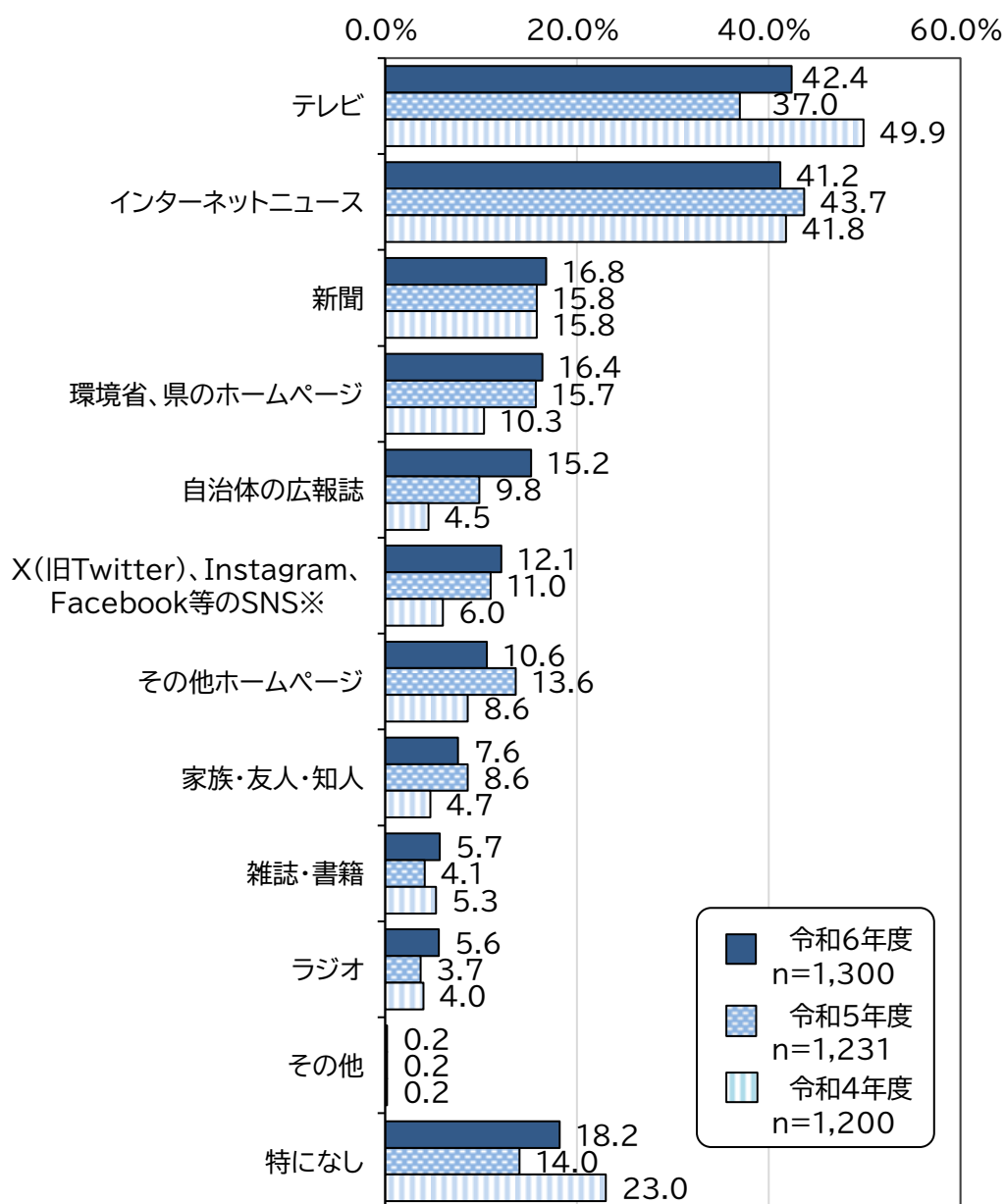
問7. 海ごみの約8割は街中から出ていると知り、あなたは今後、河川、用水路、海岸等での清掃活動に参加したいと思いますか。(単数回答)

海ごみの約8割は街中から出ていると知り、今後、河川、用水路、海岸等での清掃活動参加意向について、『参加したい』(「とても参加したいと思った」と「少し参加したいと思った」を合わせた割合)と回答した人の割合が 51.7%、『参加したいと思わない』(「全く参加したいと思わない」と「あまり参加したいと思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 48.3%となっている。



問8. あなたは海ごみ問題に関して知りたいと思ったとき、どのような媒体から情報を得ようと思いますか。(複数回答)

海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体について、「テレビ」と回答した人の割合が42.4%と最も高く、次いで「インターネットニュース」(41.2%)が続いている。



※令和4年度、令和5年度は「Twitter, Facebook 等の SNS」

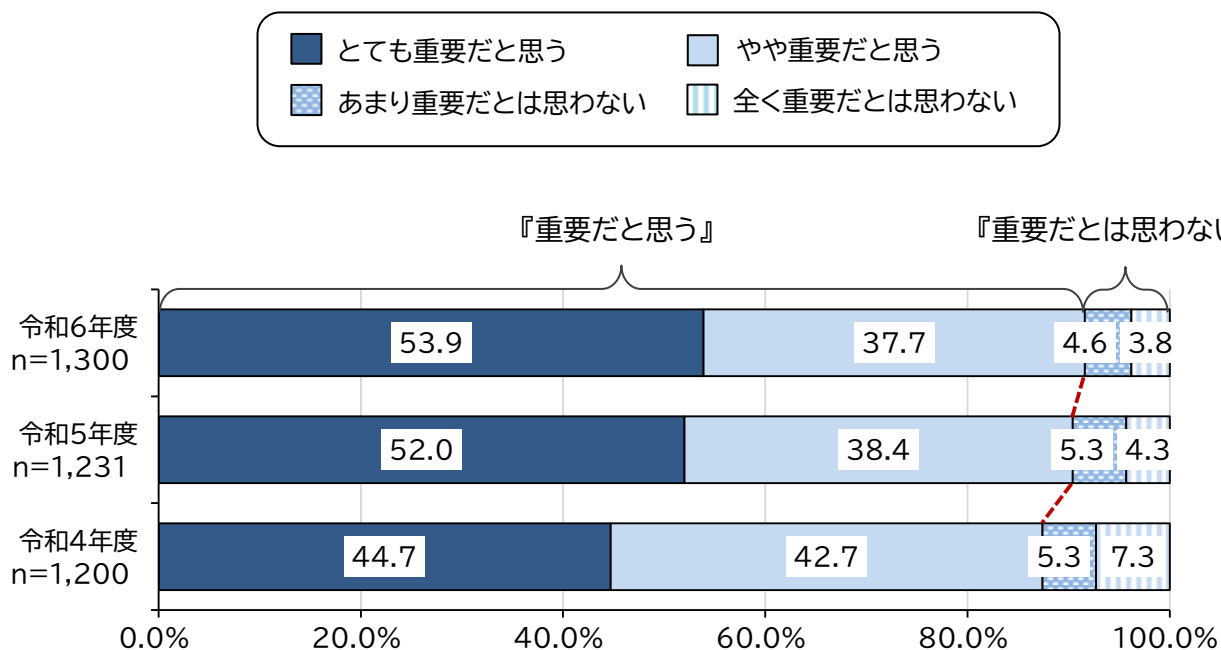
地域別にみると、「テレビ」、「インターネットニュース」と回答した人の割合は都市部で3割台と他の地域に比べ低くなっている。

	全 体	問8 海ごみ問題に関して知りたいと思ったときに情報を得ようとする媒体							
		テレビ	インター ネット ニュース	新聞	環境省、県 のホーム ページ	自治体の広 報誌	X (旧 Twitter) ・ Instagram ・ Facebook 等のSNS	その他ホー ムページ	家族・友 人・知人
全 体	1,300 100.0	551 42.4	535 41.2	219 16.8	213 16.4	197 15.2	157 12.1	138 10.6	99 7.6
都市部	477 100.0	170 35.6	167 35.0	66 13.8	90 18.9	70 14.7	59 12.4	60 12.6	35 7.3
沿岸部	373 100.0	172 46.1	172 46.1	76 20.4	61 16.4	47 12.6	36 9.7	37 9.9	29 7.8
内陸部	450 100.0	209 46.4	196 43.6	77 17.1	62 13.8	80 17.8	62 13.8	41 9.1	35 7.8

	全 体				
		雑誌・書籍	ラジオ	その他	特になし
全 体	1,300 100.0	74 5.7	73 5.6	3 0.2	236 18.2
都市部	477 100.0	24 5.0	26 5.5	0 0.0	110 23.1
沿岸部	373 100.0	23 6.2	19 5.1	2 0.5	48 12.9
内陸部	450 100.0	27 6.0	28 6.2	1 0.2	78 17.3

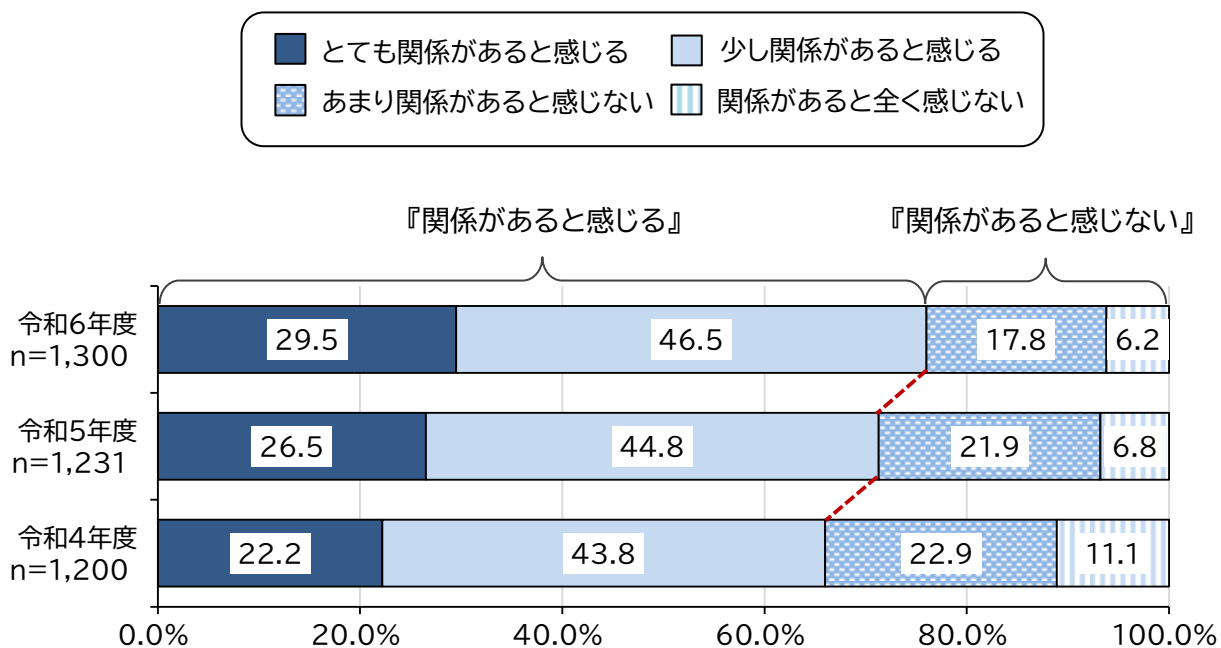
問9. あなたは、「海ごみ問題」に対処することを重要だと考えますか。(単数回答)

「海ごみ問題」に対処することの重要性について、『重要だと思う』(「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた割合)と回答した人の割合が 91.6%、『重要だとは思わない』(「全く重要だとは思わない」と「あまり重要だとは思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 8.4%となっており、『重要だと思う』と回答した人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。



問10. あなたは、「海ごみ問題」について自分に関係があると感じますか。(単数回答)

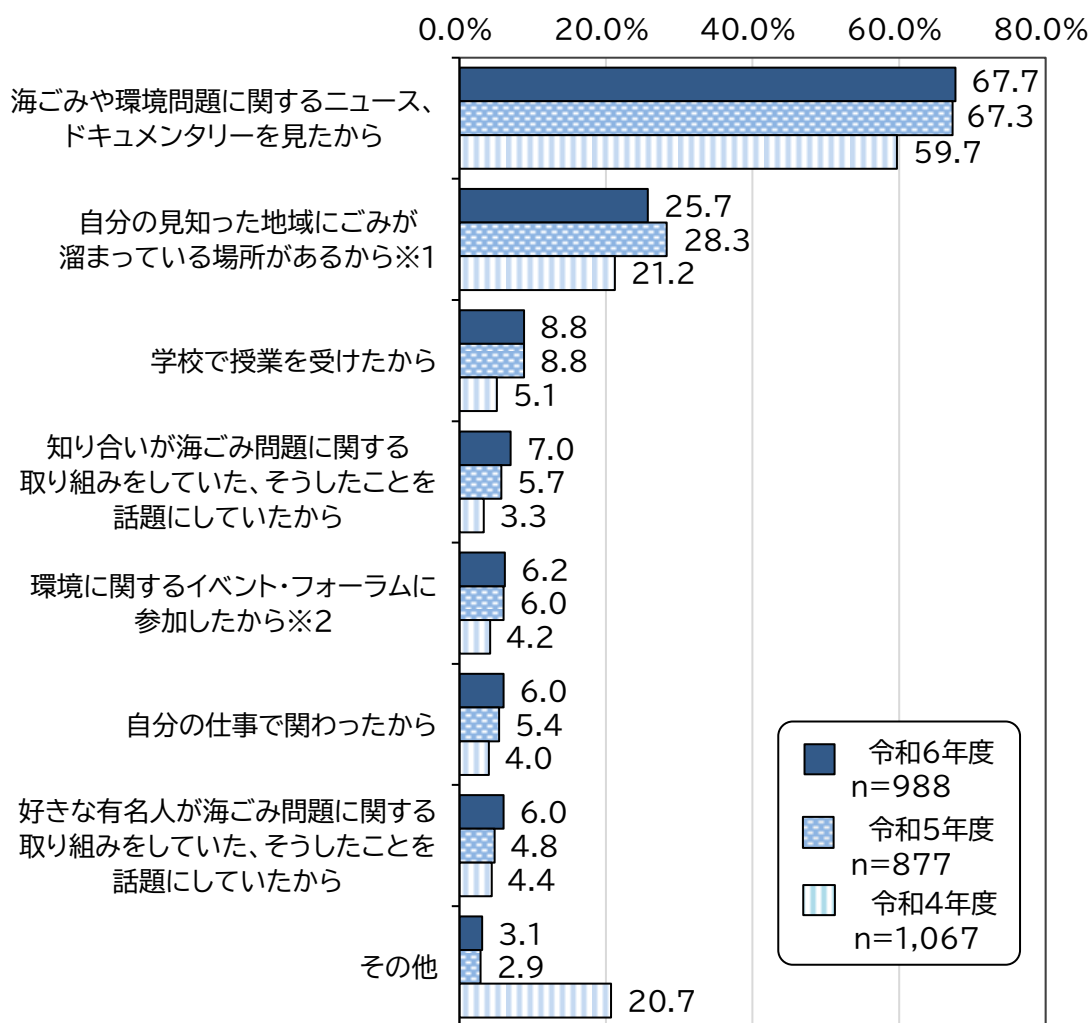
「海ごみ問題」と自分との関係性について、『関係があると感じる』(「とても関係があると感じる」と「少し関係があると感じる」を合わせた割合)と回答した人の割合が 76.0%、『関係があると感じない』(「関係があると感じない」と「あまり関係があると感じない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 24.0%となっており、『関係があると感じる』と回答した人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。



問11.「海ごみ問題」について自分が関係があると思ったきっかけを下記の中から当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

※n=問10で『関係があると感じる』と回答した人

「海ごみ問題」が自分に関係があると思ったきっかけについて、「海ごみや環境問題に関するニュース、ドキュメンタリーを見たから」と回答した人の割合が67.7%と最も高く、次いで「自分の見知った地域にごみが溜まっている場所があるから」(25.7%)が続いている。



※1 令和4年度は、「自分の見知った地域が汚染されていると知ったから」

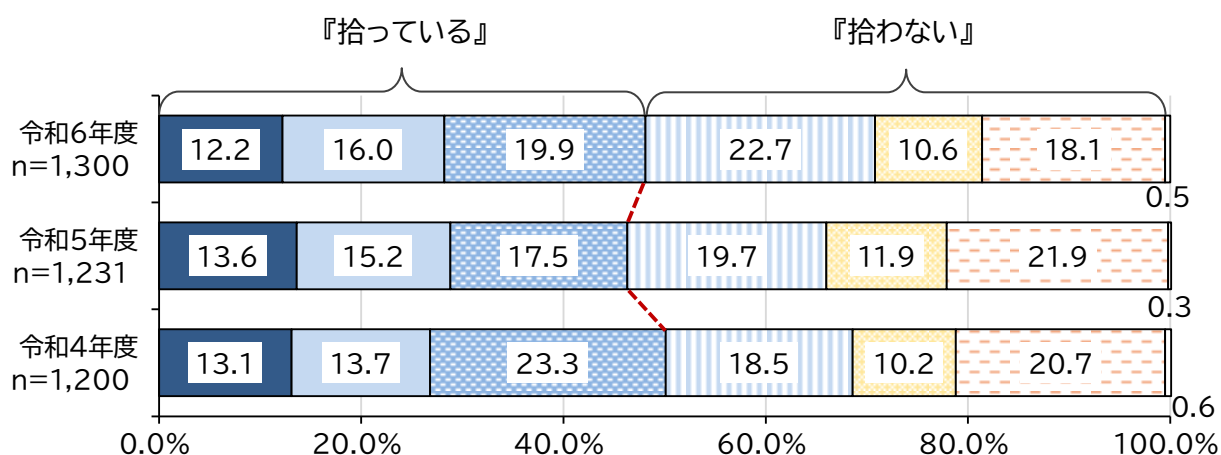
※2 令和4年度は、「環境に関するイベント・フォーラムに参加したこと」

地域別にみると、「海ごみや環境問題に関するニュース、ドキュメンタリーを見たから」と回答した人の割合は内陸部で7割台、「自分の見知った地域にごみが溜まっている場所があるから」と回答した人の割合は沿岸部で3割台と他の地域に比べ高くなっている。

	全 体	問11 「海ごみ問題」が自分に関係があると思ったきっかけ							
		海ごみや環 境問題に関 するニュー ス、ドキュ メンタリー を見たから	自分の見 知った地域 にごみが溜 まっている 場所がある から	学校で 授業を受け たから	知り合いが 海ごみ問題 に関する取 り組みをし ていた、そ うしたこと を話題にし ていたから	環境に関す るイベン ト・フォー ラムに参加 したから	自分の仕事 で関わった から	好きな有名 人が海ごみ 問題に関す る取り組み をしていた、 そうしたこ とを話題に していたから	その他
全 体	988 100.0	669 67.7	254 25.7	87 8.8	69 7.0	61 6.2	59 6.0	59 6.0	31 3.1
都市部	351 100.0	222 63.2	89 25.4	46 13.1	22 6.3	29 8.3	22 6.3	30 8.5	6 1.7
沿岸部	284 100.0	190 66.9	100 35.2	15 5.3	23 8.1	11 3.9	22 7.7	16 5.6	7 2.5
内陸部	353 100.0	257 72.8	65 18.4	26 7.4	24 6.8	21 5.9	15 4.2	13 3.7	18 5.1

問12. 街中や河川敷などのごみについて、あなたの行動に最も当てはまるものをお答えください。
(清掃活動以外)(単数回答)

街中や河川敷などのごみについて、『拾っている』(「見つけたら拾っている」、「見つけたときに時間があれば拾っている」、「見つけたときに周辺にごみ箱があれば拾っている」を合わせた割合)が48.1%、『拾わない』(「見つけても全く拾わない」と「見つけても拾わないことが多い」を合わせた割合)が33.3%となっている。

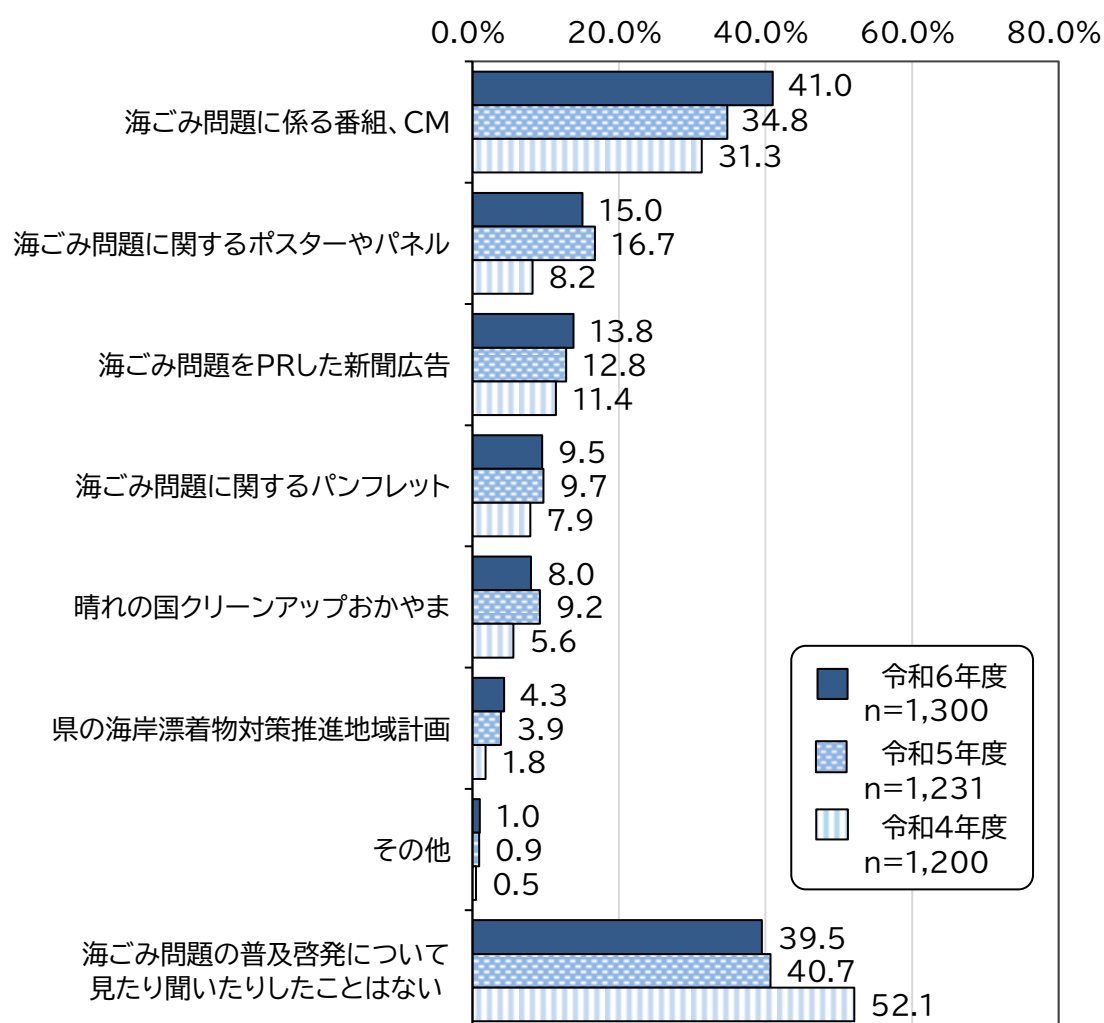


問13. あなたは、次の海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはありますか。

(複数回答)

海ごみ問題の普及啓発に関して見聞きしたことがあることについて、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合が 41.0%と最も高く、次いで「海ごみ問題に関するポスターやパネル」(15.0%)、「海ごみ問題を PR した新聞広告」(13.8%)などの順となっている。

経年比較でみると、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。



地域別にみると、「海ごみ問題に係る番組、CM」と回答した人の割合は都市部は他の地域に比べ低い。また、「海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはない」と回答した人の割合は都市部で4割台後半と他の地域に比べ高くなっている。

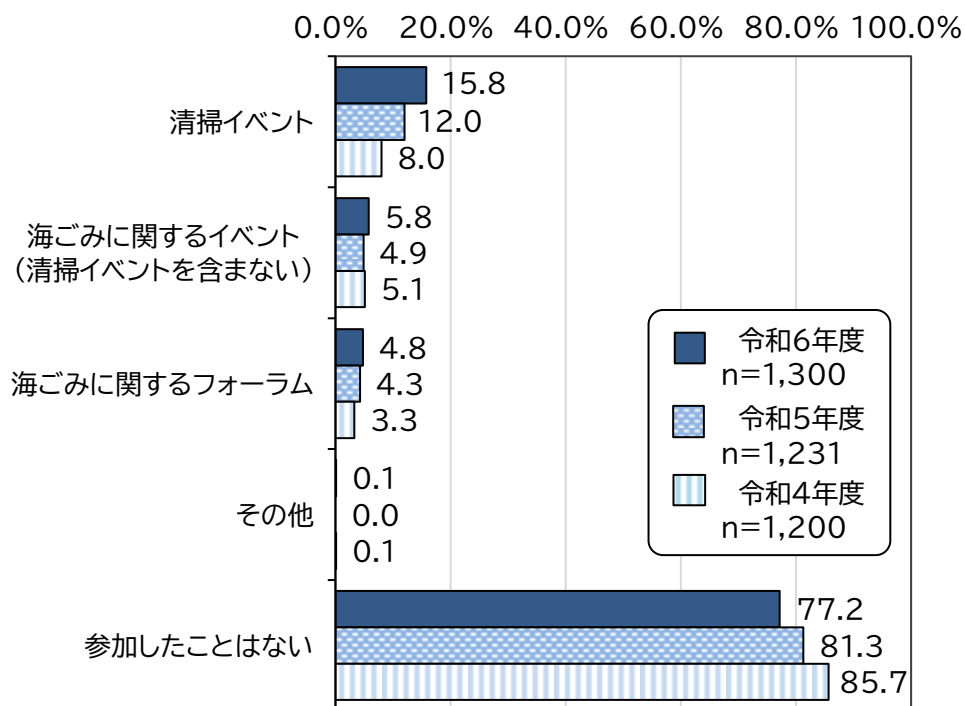
全 体	問13 海ごみ問題の普及啓発に関して見聞きしたことがあること									
	海ごみ問題に係る番組、CM	海ごみ問題に関するポスターやパネル	海ごみ問題をPRした新聞広告	海ごみ問題に関するパンフレット	晴れの国クリーンアップおかやま	県の海岸漂着物対策推進地域計画	その他	海ごみ問題の普及啓発について見たり聞いたりしたことはない		
全 体	1,300 100.0	533 41.0	195 15.0	179 13.8	124 9.5	104 8.0	56 4.3	13 1.0	514 39.5	
都市部	477 100.0	160 33.5	66 13.8	57 11.9	43 9.0	36 7.5	23 4.8	3 0.6	230 48.2	
沿岸部	373 100.0	172 46.1	59 15.8	51 13.7	37 9.9	32 8.6	13 3.5	3 0.8	130 34.9	
内陸部	450 100.0	201 44.7	70 15.6	71 15.8	44 9.8	36 8.0	20 4.4	7 1.6	154 34.2	

問14. あなたは、次のような海ごみ問題の普及啓発について参加したことはありますか。

(複数回答)

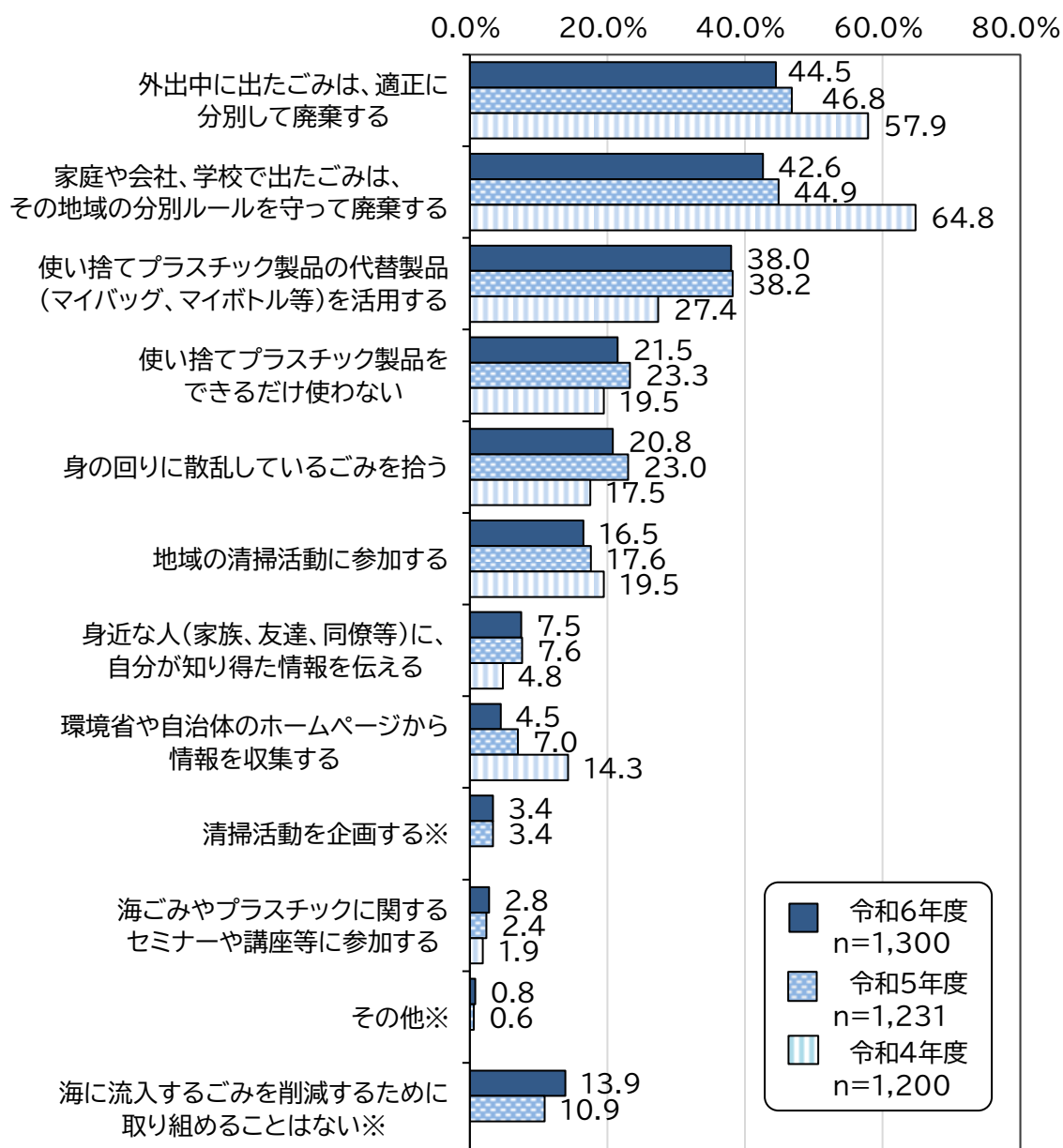
海ごみ問題の普及啓発への参加経験について、「参加したことはない」と回答した人の割合は77.2%となった。

各イベントに参加したことがある人では「清掃イベント」と回答した人の割合が15.8%と最も高くなっている。



問15. 海に流入するごみを削減するために、あなたが行う取り組みを3つまでお答えください。(複数回答)

海に流入するごみを削減するために取り組めそうなものについて、「外出中に出たごみは、適正に分別して廃棄する」と回答した人の割合が44.5%と最も高く、次いで「家庭や会社、学校で出たごみは、その地域の分別ルールを守って廃棄する」(42.6%)、「使い捨てプラスチック製品の代替製品(マイバッグ、マイボトル等)を活用する」(38.0%)などの順となっている。



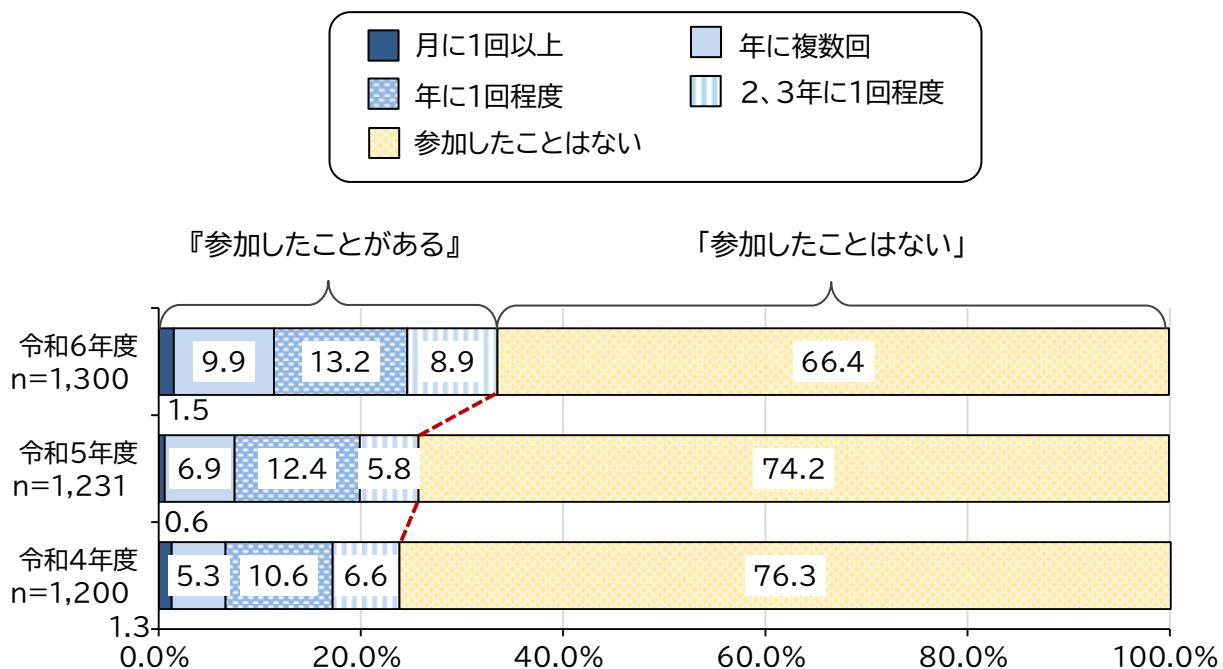
※令和4年度にはない選択肢

問16. あなたは、どの程度の頻度で河川、用水路、海岸等での清掃活動に参加していますか。

(複数回答)

河川、用水路、海岸等での清掃活動への参加頻度について、「参加したことはない」と回答した人の割合が66.4%と最も高くなっている。

一方で、清掃活動へ参加したことがある人の割合は令和4年度調査から今回調査にかけて上昇傾向がみられる。

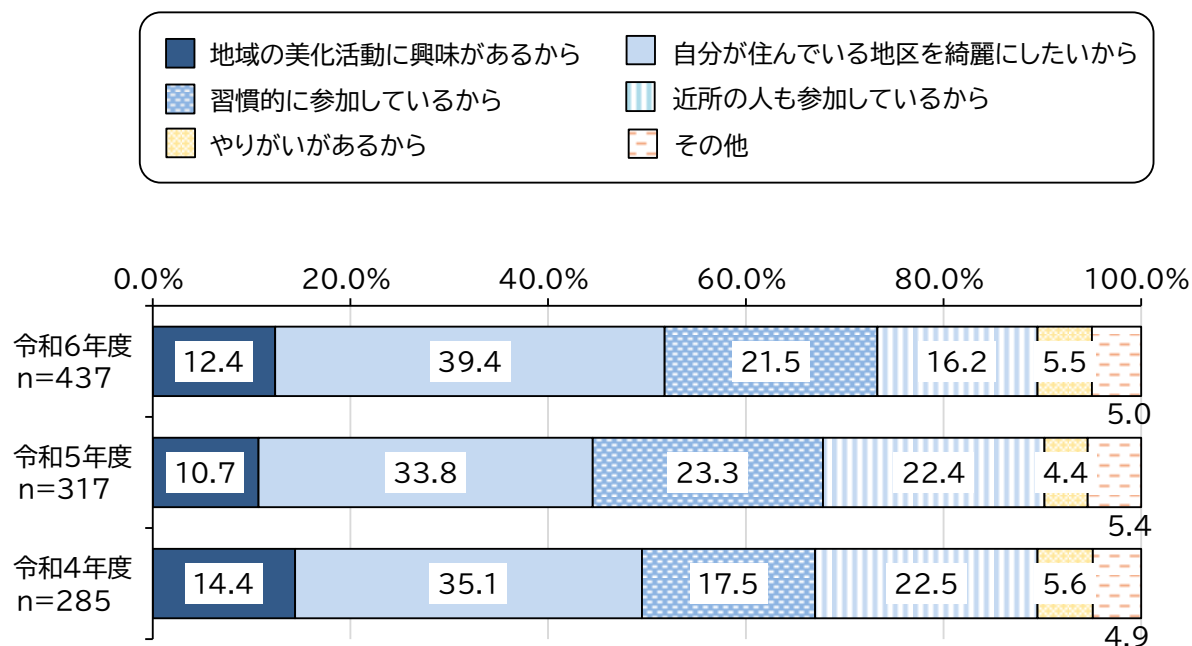


問17. あなたが清掃活動に参加する理由として最もあてはまるものをお答えください。

(単数回答)

※n=問16で『参加している』と回答した人

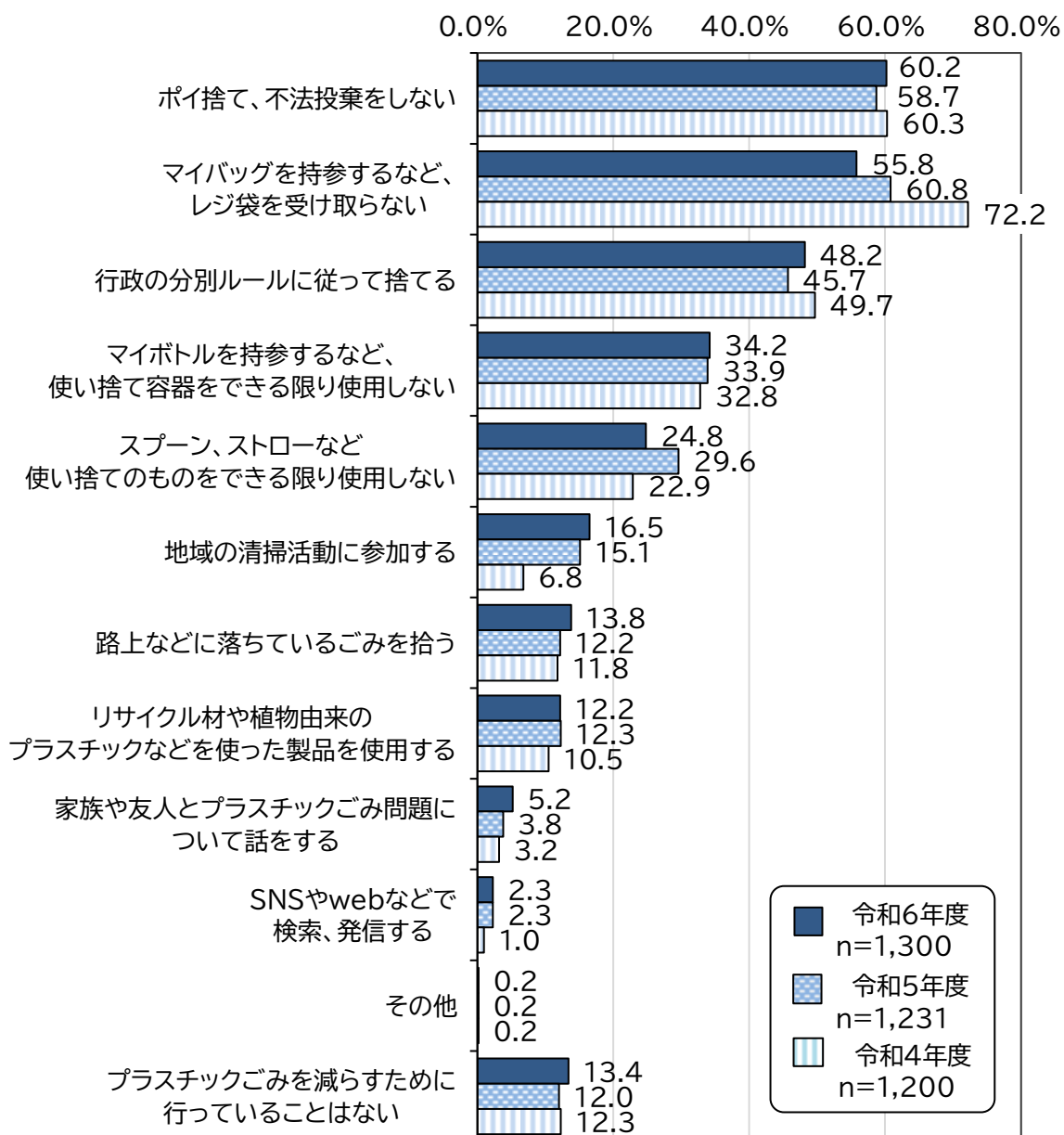
清掃活動に参加する理由について、「自分が住んでいる地区を綺麗にしたいから」と回答した人の割合が 39.4%と最も高く、次いで「習慣的に参加しているから」(21.5%)、「近所の人も参加しているから」(16.2%)などの順となっている。



3. プラスチックごみについて

問18. あなたは、プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることはありますか。(複数回答)

プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることについて、「ポイ捨て、不法投棄をしない」と回答した人の割合が 60.2%と最も高く、次いで「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」(55.8%)、「行政の分別ルールに従って捨てる」(48.2%)などの順となっている。



地域別にみると、「行政の分別ルールに従って捨てる」と回答した人の割合は沿岸部で5割台と他の地域に比べ高くなっている。

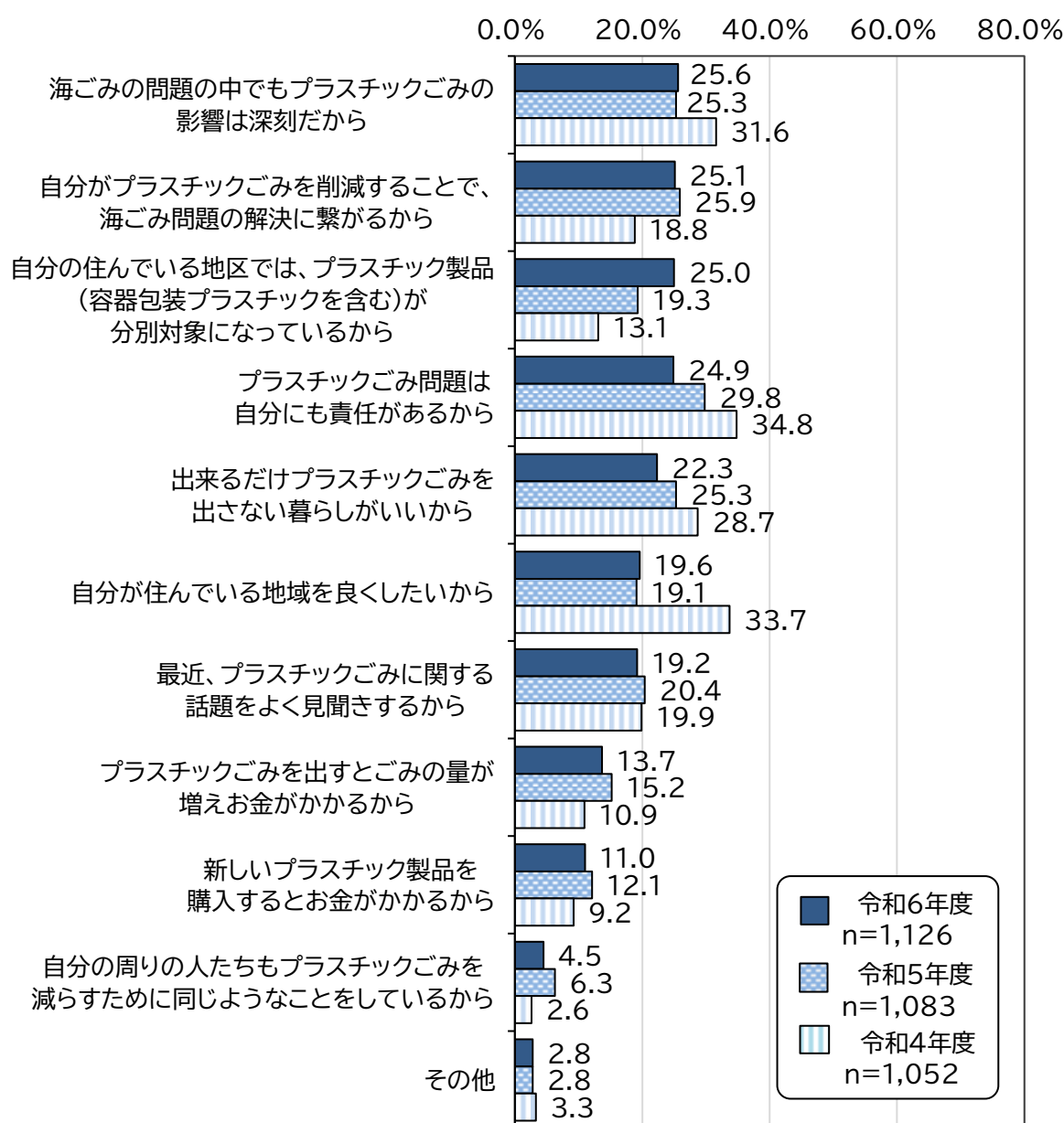
	全 体	問18 プラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいること							
		ポイ捨て、 不法投棄を しない	マイバッグ を持参する など、レジ 袋を受け取 らない	行政の分別 ルールに 従って捨て る	マイボトル を持参する など、使い 捨て容器を できる限り 使用しない	スプーン、 ストローな ど使い捨て のものをで きる限り使 用しない	地域の清掃 活動に参加 する	路上などに 落ちている ごみを拾う	リサイクル 材や植物由 来のプラス チックなど を使った製 品を使用す る
全 体	1,300 100.0	783 60.2	726 55.8	626 48.2	444 34.2	323 24.8	215 16.5	180 13.8	159 12.2
都市部	477 100.0	270 56.6	251 52.6	208 43.6	163 34.2	122 25.6	66 13.8	55 11.5	54 11.3
沿岸部	373 100.0	240 64.3	215 57.6	200 53.6	127 34.0	87 23.3	70 18.8	55 14.7	47 12.6
内陸部	450 100.0	273 60.7	260 57.8	218 48.4	154 34.2	114 25.3	79 17.6	70 15.6	58 12.9

	全 体	家族や友人 とプラス チックごみ 問題につい て話をす	SNSやweb などで検 索、発信す る	その他	プラスチッ クごみを減 らすために 行っている ことはない
全 体	1,300 100.0	67 5.2	30 2.3	3 0.2	174 13.4
都市部	477 100.0	32 6.7	13 2.7	2 0.4	76 15.9
沿岸部	373 100.0	13 3.5	4 1.1	1 0.3	42 11.3
内陸部	450 100.0	22 4.9	13 2.9	0 0.0	56 12.4

問19. あなたが、前問で回答したような行動に至った理由は何ですか。当てはまるものを3つまでお答えください。(複数回答)

※n=問18 でプラスチックごみを減らすために、普段の生活の中で取り組んでいることがあると回答した人

前問で回答したような行動に至った理由について、「海ごみの問題の中でもプラスチックごみの影響は深刻だから」と回答した人の割合が 25.6%と最も高く、次いで「自分がプラスチックごみを削減することで、海ごみ問題の解決に繋がるから」(25.1%)、「自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから」(25.0%)、「プラスチックごみ問題は自分にも責任があるから」(24.9%)などの順となっている。



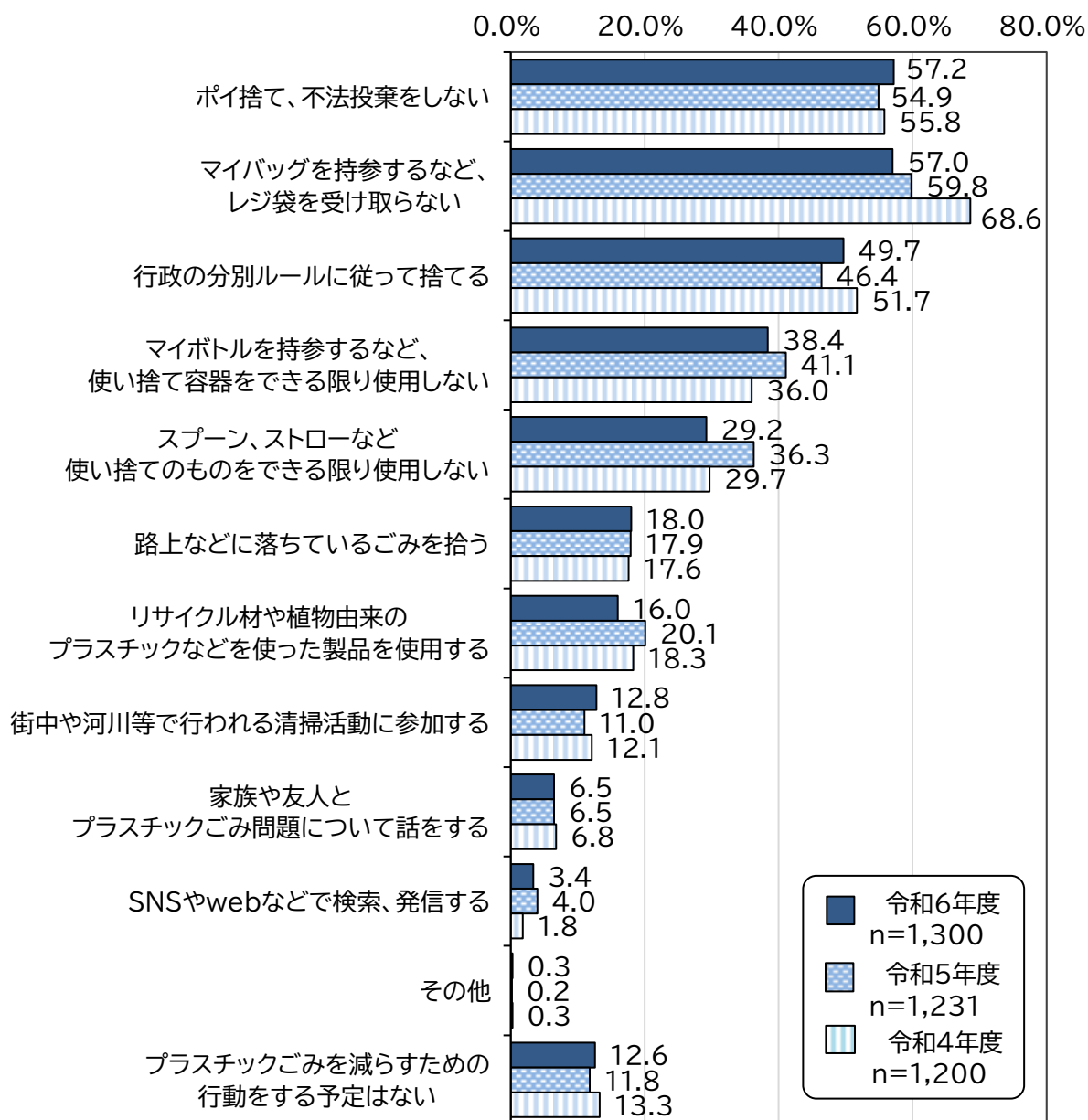
地域別にみると、「自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから」と回答した人の割合は沿岸部で3割台と他の地域に比べ高くなっている。

	全 体	問19 前問で回答したような行動に至った理由							
		海ごみの問題の中でもプラスチックごみの影響は深刻だから	自分がプラスチックごみを削減することで、海ごみ問題の解決に繋がるから	自分の住んでいる地区では、プラスチック製品(容器包装プラスチックを含む)が分別対象になっているから	プラスチックごみ問題は自分にも責任があるから	出来るだけプラスチックごみを出さない暮らしがいいから	自分が住んでいる地域を良くしたいから	最近、プラスチックごみに関する話題をよく見聞きするから	プラスチックごみを出すとごみの量が増えお金がかかるから
全 体	1,126 100.0	288 25.6	283 25.1	282 25.0	280 24.9	251 22.3	221 19.6	216 19.2	154 13.7
都市部	401 100.0	98 24.4	89 22.2	87 21.7	95 23.7	94 23.4	73 18.2	71 17.7	55 13.7
沿岸部	331 100.0	89 26.9	89 26.9	104 31.4	79 23.9	73 22.1	62 18.7	58 17.5	38 11.5
内陸部	394 100.0	101 25.6	105 26.6	91 23.1	106 26.9	84 21.3	86 21.8	87 22.1	61 15.5

	全 体	新しいプラスチック製品を購入するとお金がかかるから	自分の周りの人たちもプラスチックごみを減らすために同じようなことをしているから	その他
全 体	1,126 100.0	124 11.0	51 4.5	31 2.8
都市部	401 100.0	49 12.2	26 6.5	11 2.7
沿岸部	331 100.0	29 8.8	11 3.3	13 3.9
内陸部	394 100.0	46 11.7	14 3.6	7 1.8

問 20. あなたが普段の生活の中でプラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていることはどれですか。(複数回答)

プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていることについて、「ポイ捨て、不法投棄をしない」と回答した人の割合が 57.2%と最も高く、次いで「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」(57.0%)、「行政の分別ルールに従って捨てる」(49.7%)などの順となっている。



地域別にみると、「ポイ捨て、不法投棄をしない」、「マイバッグを持参するなど、レジ袋を受け取らない」と回答した人の割合は都市部で5割台前半、「行政の分別ルールに従って捨てる」と回答した人の割合は都市部で4割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

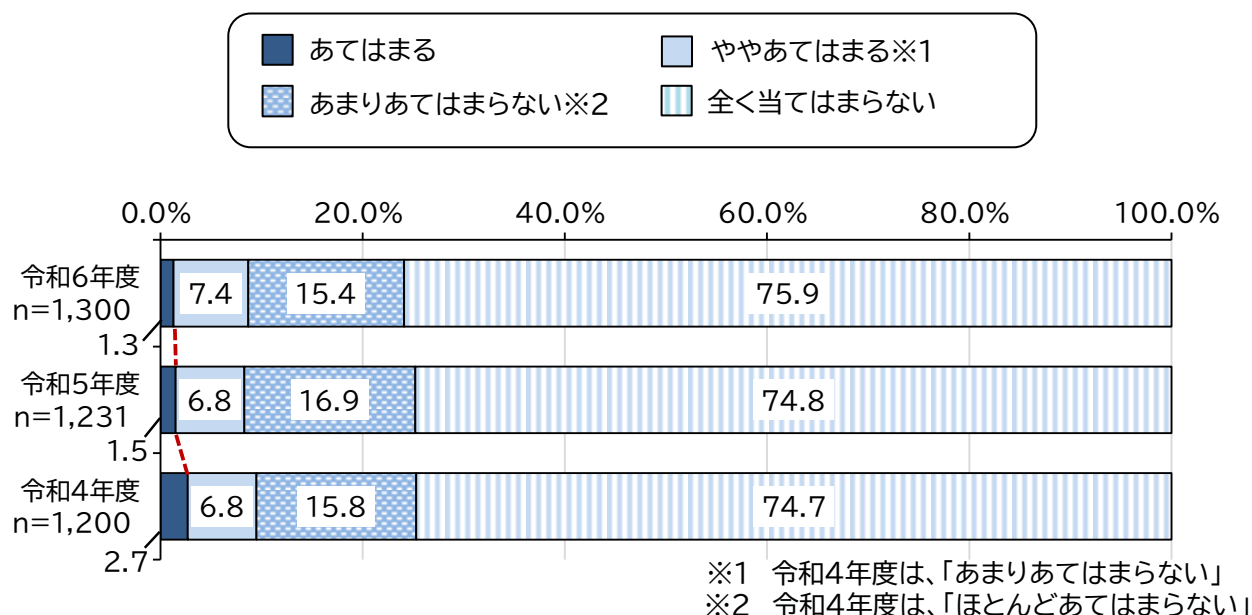
	全 体	問20 プラスチックごみを減らすために今後行う予定がある、もしくは行いたいと思っていること							
		ポイ捨て、 不法投棄を しない	マイバッグ を持参する など、レジ 袋を受け取 らない	行政の分別 ルールに 従って捨て る	マイボトル を持参する など、使い 捨て容器を できる限り 使用しない	スプーン、 ストローな ど使い捨て のものをで きる限り使 用しない	路上などに 落ちている ごみを拾う	リサイクル 材や植物由 来のプラス チックなど を使った製 品を使用す る	街中や河川 等で行われ る清掃活動 に参加する
全 体	1,300 100.0	743 57.2	741 57.0	646 49.7	499 38.4	380 29.2	234 18.0	208 16.0	166 12.8
都市部	477 100.0	246 51.6	249 52.2	213 44.7	174 36.5	129 27.0	87 18.2	55 11.5	56 11.7
沿岸部	373 100.0	230 61.7	228 61.1	201 53.9	146 39.1	111 29.8	62 16.6	67 18.0	47 12.6
内陸部	450 100.0	267 59.3	264 58.7	232 51.6	179 39.8	140 31.1	85 18.9	86 19.1	63 14.0

	全 体	家族や友人 とプラス チックごみ 問題につい て話をする	SNSやweb などで検 索、発信す る	その他	プラスチ ックごみを減 らすための 行動をする 予定はない
全 体	1,300 100.0	84 6.5	44 3.4	4 0.3	164 12.6
都市部	477 100.0	38 8.0	18 3.8	2 0.4	70 14.7
沿岸部	373 100.0	15 4.0	7 1.9	0 0.0	40 10.7
内陸部	450 100.0	31 6.9	19 4.2	2 0.4	54 12.0

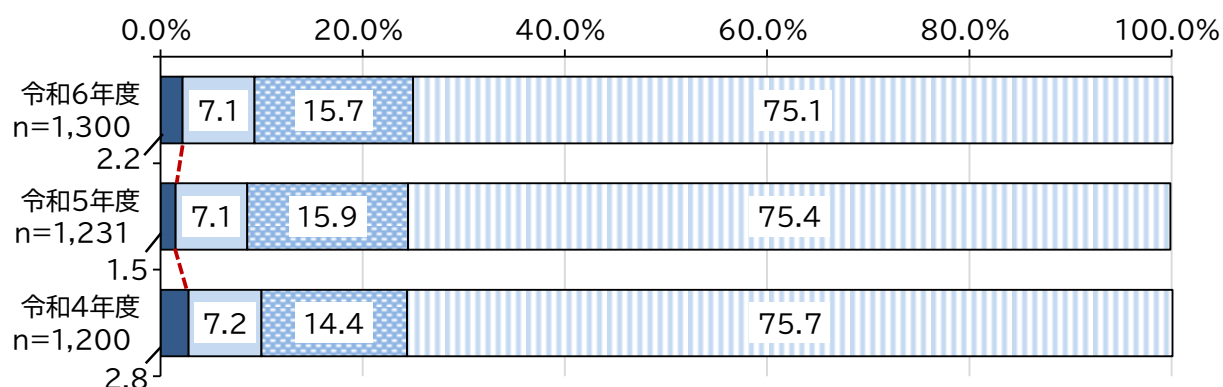
問 21. あなたは下記についてどの程度当てはまりますか。過去1年間の行動に当てはまるものを選択してください。(それぞれひとつずつ選択)

過去1年間の行動について『あてはまる』と回答した人の割合は「(1)パンやおにぎり、アメの包装・ペットボトル・飲料用カップなど、ちょっとしたごみが出たときに、周辺にごみ箱がなかったため、ポイ捨てをしたことがある」で 8.7%、「(2)周囲に人がいないことを確かめてから、その場にごみを放置したことがある」で 9.3%、「(3)車内で発生したごみを車外へポイ捨てをしたことがある」で 8.4%となっており、いずれも1割未満となっている。

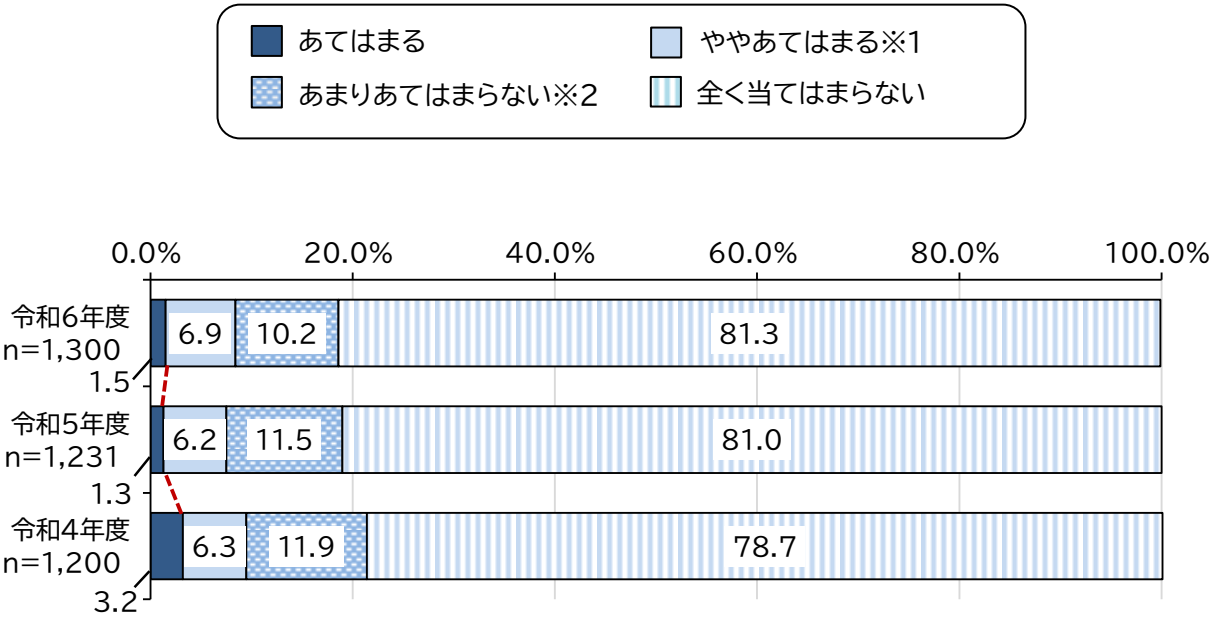
(1)パンやおにぎり、アメの包装・ペットボトル・飲料用カップなど、ちょっとしたごみが出たときに、周辺にごみ箱がなかったため、ポイ捨てをしたことがある



(2)周囲に人がいないことを確かめてから、その場にごみを放置したことがある



(3)車内で発生したごみを車外へポイ捨てしたことがある

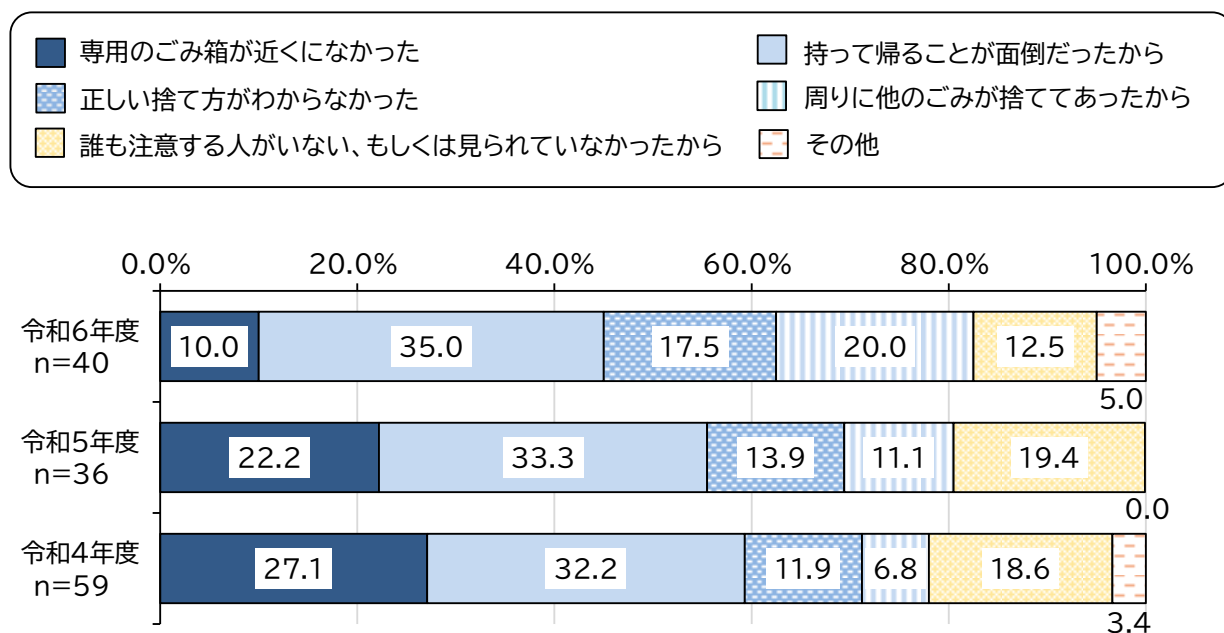


問 22. 前問で「あてはまる」を選んだ理由として、最もあてはまるものをお答え下さい。

(単数回答)

※n=問21 でひとつでも「あてはまる」と回答した人

前問で「あてはまる」を選んだ理由として、「持って帰ることが面倒だったら」と回答した人の割合が35.0%と最も高く、次いで「周りに他のごみが捨ててあったから」(20.0%)、「正しい捨て方がわからなかった」(17.5%)などの順となっている。



4. 食品ロス問題について

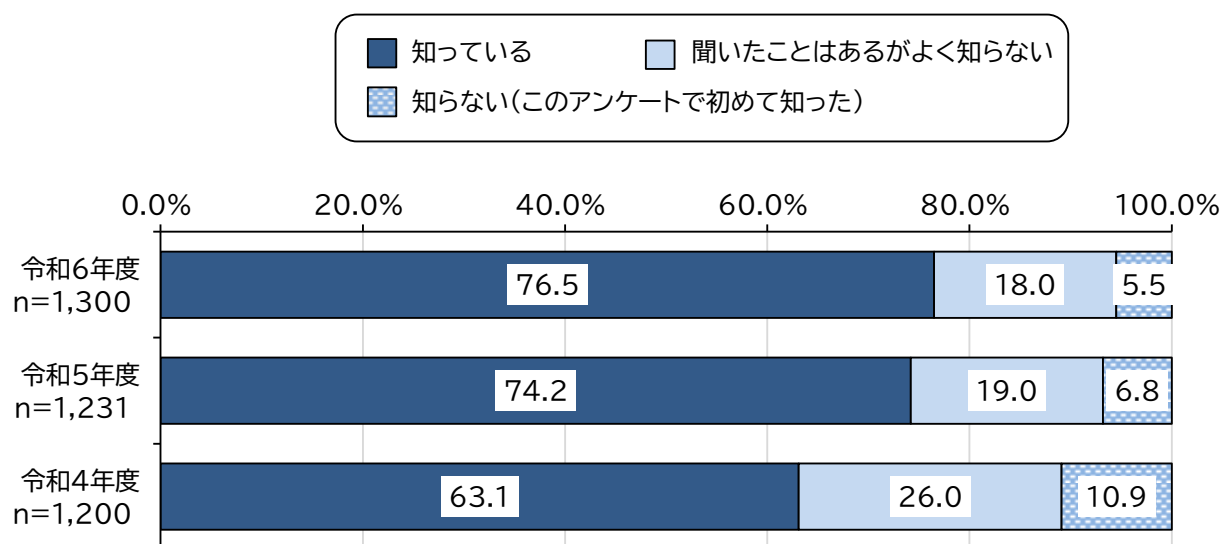
問 23. あなたは下記の項目についてどの程度ご存じですか。(それぞれひとつずつ)

下記の(1)～(6)の項目の認知度について、「知っている」と回答した人の割合は(1)食品ロス問題、(5)賞味期限と消費期限の正しい意味で7割台、(4)食品ロスの削減に繋がる「てまえどり」で6割台、(2)フードバンクの活動で4割台と高くなっている。

一方、「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人の割合は(6)「30・10 運動」で7割台と高くなっている。

(1)あなたは食品ロス問題※を知っていますか。

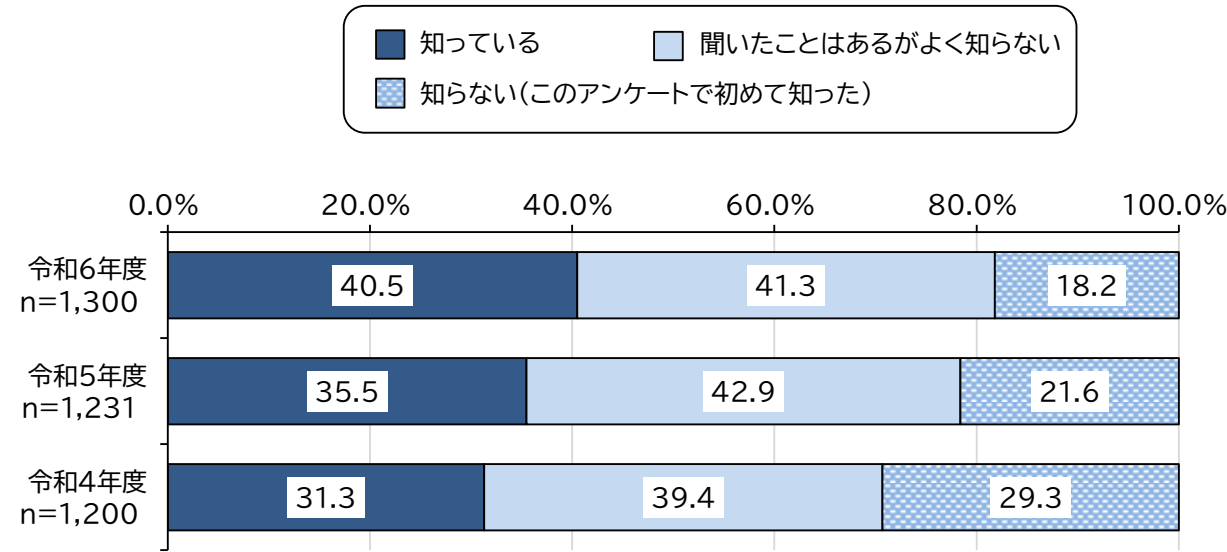
※食品ロス:まだ食べられるのに捨てられている食品



	全 体	(1)食品ロス問題		
		知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知らない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300 100.0	995 76.5	234 18.0	71 5.5
都市部	477 100.0	357 74.8	89 18.7	31 6.5
沿岸部	373 100.0	292 78.3	66 17.7	15 4.0
内陸部	450 100.0	346 76.9	79 17.6	25 5.6

(2)フードバンク※がどのような活動をしているか知っていますか。

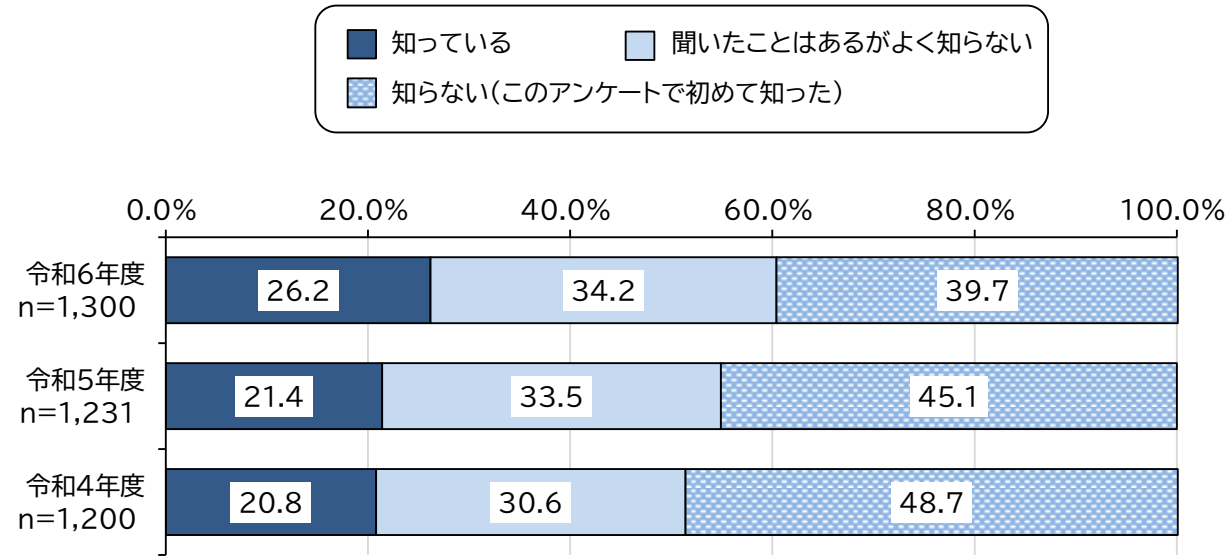
※フードバンク:食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体



	全 体	(2)フードバンクの活動		
		知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知らない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300 100.0	527 40.5	537 41.3	236 18.2
都市部	477 100.0	189 39.6	189 39.6	99 20.8
沿岸部	373 100.0	159 42.6	151 40.5	63 16.9
内陸部	450 100.0	179 39.8	197 43.8	74 16.4

(3)フードドライブ※がどのような活動か知っていますか。

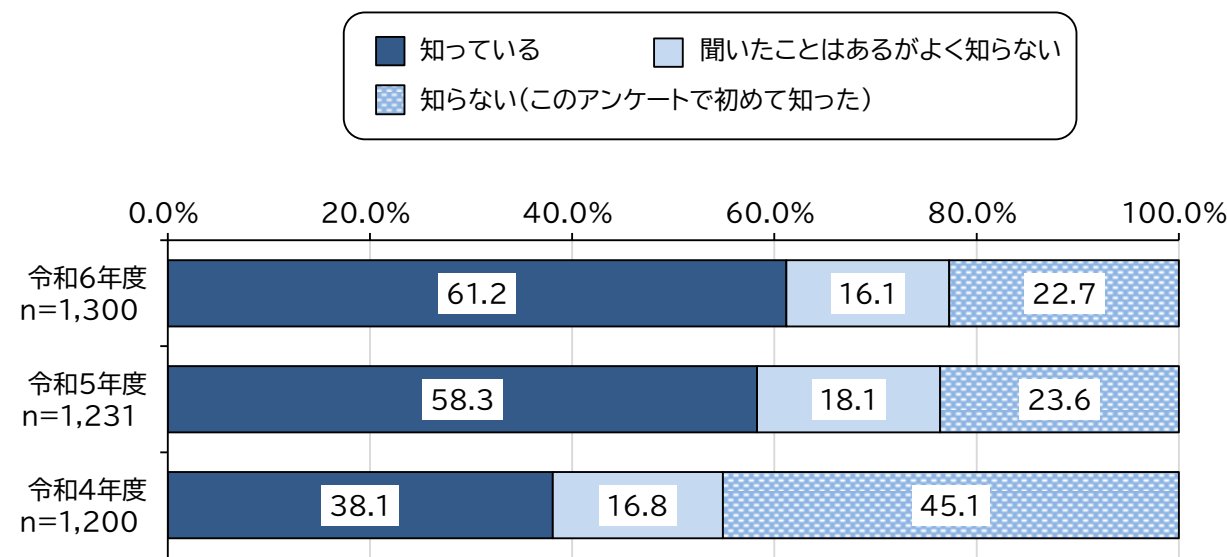
※フードドライブ:各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動



	全 体	(3)フードドライブの活動		
		知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知らない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300 100.0	340 26.2	444 34.2	516 39.7
都市部	477 100.0	117 24.5	144 30.2	216 45.3
沿岸部	373 100.0	88 23.6	137 36.7	148 39.7
内陸部	450 100.0	135 30.0	163 36.2	152 33.8

(4)食品ロスの削減に繋がる「てまえどり※」を知っていますか。

※てまえどり:商品棚の手前にある商品を選ぶこと

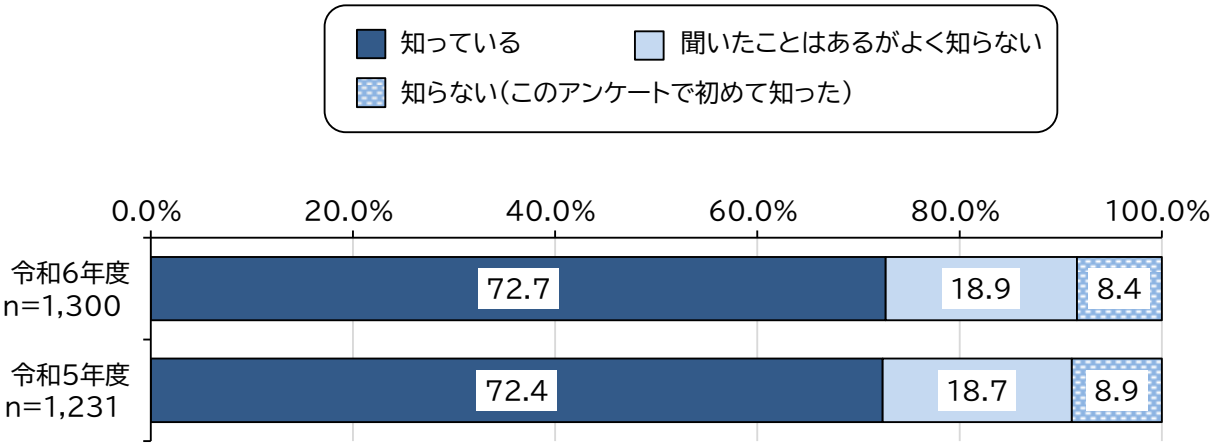


	全 体	(4)てまえどり		
		知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知らない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300 100.0	796 61.2	209 16.1	295 22.7
都市部	477 100.0	285 59.7	73 15.3	119 24.9
沿岸部	373 100.0	221 59.2	64 17.2	88 23.6
内陸部	450 100.0	290 64.4	72 16.0	88 19.6

(5)賞味期限と消費期限※の意味を正しく知っていますか。

※賞味期限:おいしく食べられる期限 ・ 消費期限:安全に食べられる期限

●令和4年度は調査なし

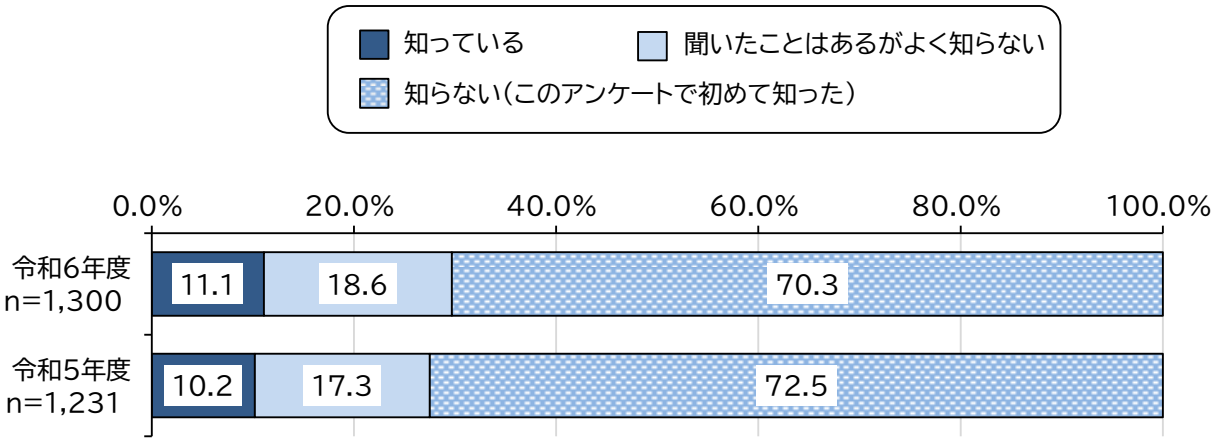


	全体	(5)賞味期限と消費期限の正しい意味		
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない(このアンケートで初めて知った)
全体	1,300 100.0	945 72.7	246 18.9	109 8.4
都市部	477 100.0	333 69.8	93 19.5	51 10.7
沿岸部	373 100.0	284 76.1	64 17.2	25 6.7
内陸部	450 100.0	328 72.9	89 19.8	33 7.3

(6)あなたは「30・10 運動」※を知っていますか。

※30・10 運動:会食時に最初の 30 分と最後の 10 分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょうという取組

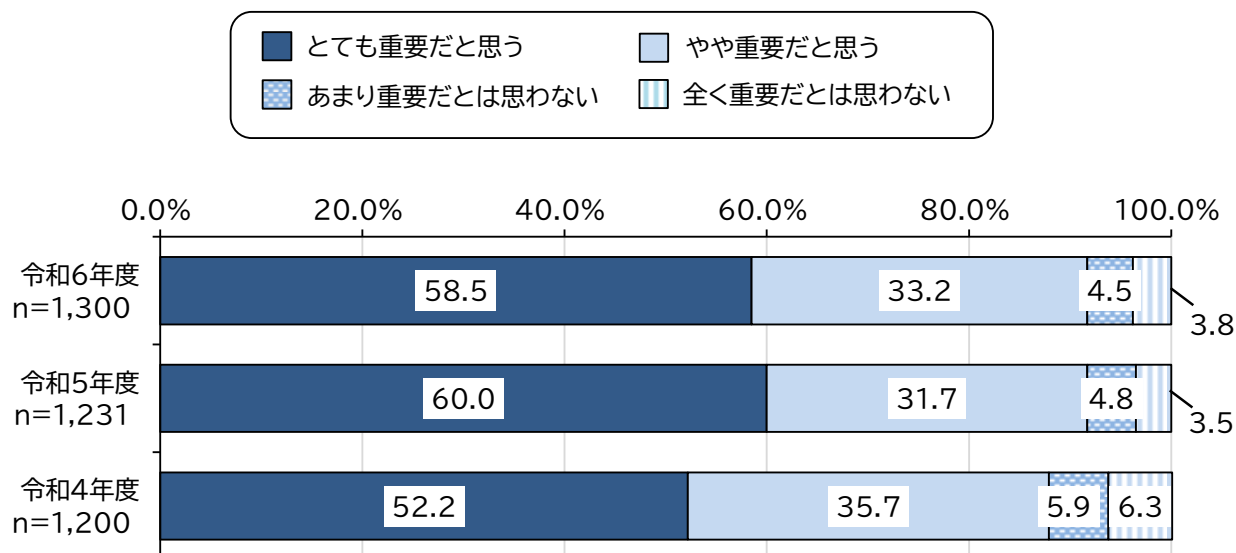
●令和4年度は調査なし



	全 体	(6)「30・10運動」		
		知っている	聞いたこと はあるがよ く知らない	知らない (このアン ケートで初 めて知っ た)
全 体	1,300 100.0	144 11.1	242 18.6	914 70.3
都市部	477 100.0	57 11.9	79 16.6	341 71.5
沿岸部	373 100.0	34 9.1	82 22.0	257 68.9
内陸部	450 100.0	53 11.8	81 18.0	316 70.2

問 24. あなたは食品ロス問題に対処することを重要だと考えますか。(単数回答)

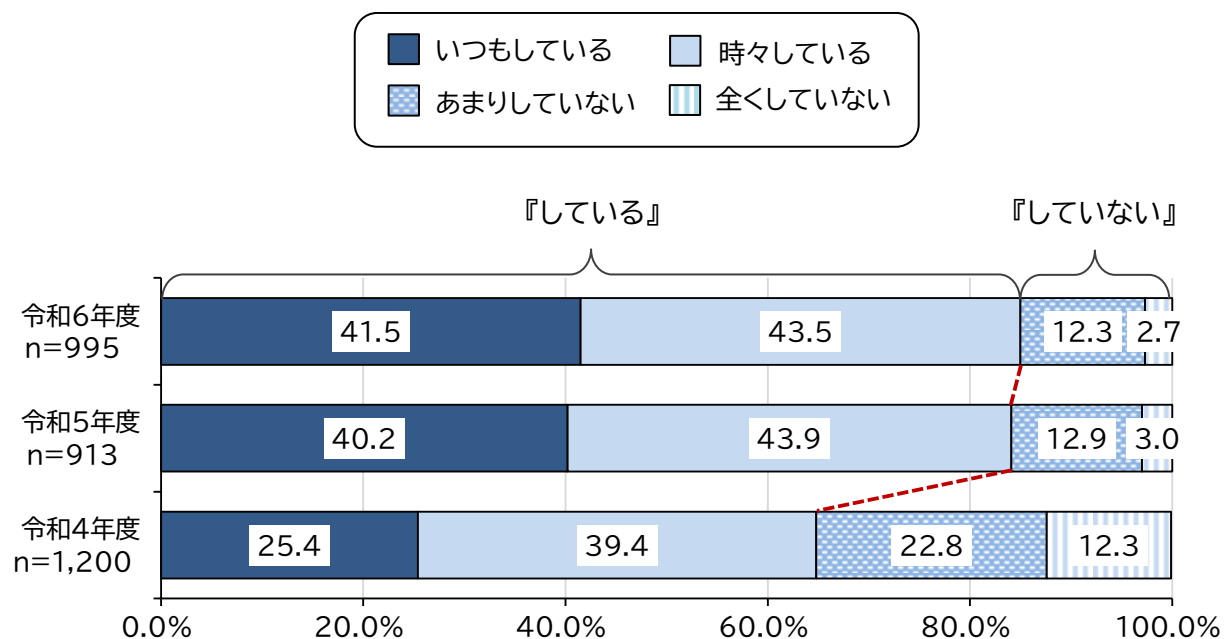
食品ロス問題に対処することの重要性について、『重要だと思う』(「とても重要だと思う」と「やや重要だと思う」を合わせた割合)と回答した人の割合が 91.7%、『重要だと思わない』(「全く重要だとは思わない」と「あまり重要だとは思わない」を合わせた割合)と回答した人の割合が 8.3%となっている。



問 25. あなたは食品ロスの削減にどのくらいの頻度で取り組んでいますか。(単数回答)

※n=問24で食品ロス問題について「知っている」と回答した人(令和5年度・令和6年度)
(令和4年度調査では全員に質問)

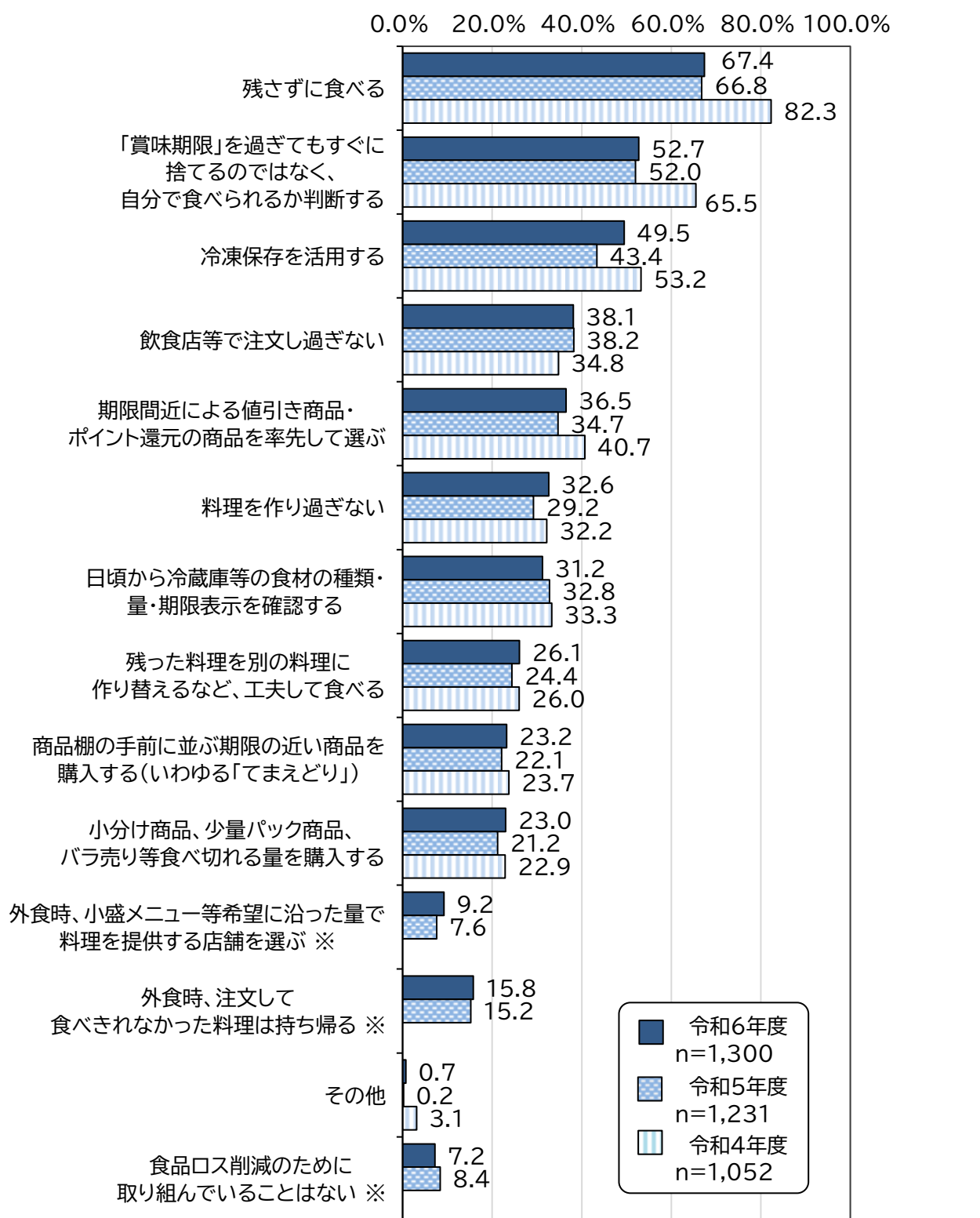
食品ロス削減への取組の頻度について、『している』(「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合)と回答した人の割合は 85.0%、『していない』(「全くしていない」と「あまりしていない」を合わせた割合)と回答した人の割合は 15.0%となった。



問 26. あなたは「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(複数回答)

※令和4年度調査では、食品ロス削減の取組を「全くしていない」と回答した以外の人

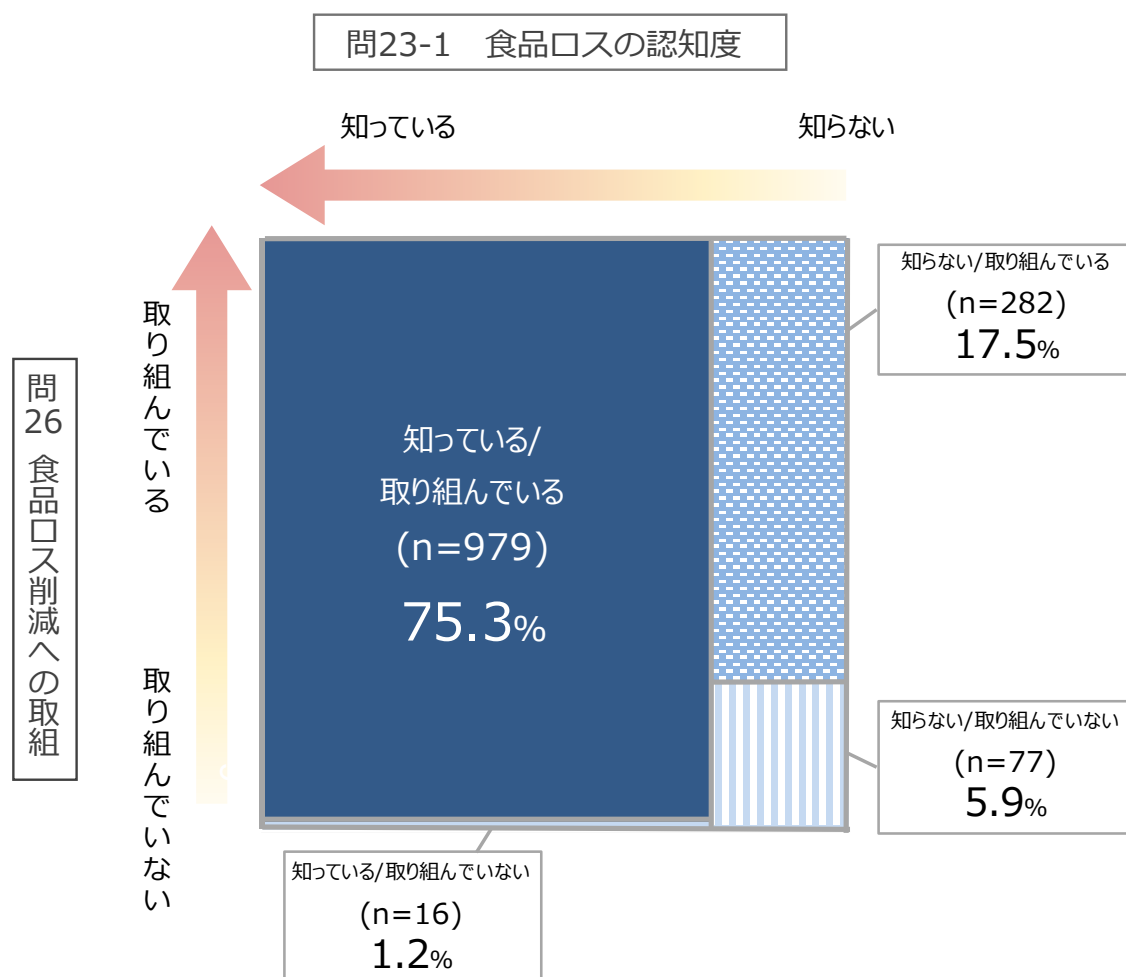
食品ロスを減らすために取り組んでいることについて、「残さずに食べる」と回答した人の割合が67.4%と最も高く、次いで『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する(52.7%)、「冷凍保存を活用する」(49.5%)などの順となっている。



※令和4年度にはない選択肢

【参考】食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合

食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合について、「食品ロス問題について知っており削減に取り組んでいる消費者」が 75.3%、「食品ロス問題について知っているが削減に取り組んでいない消費者」が 1.2%、「食品ロス問題について知らないが削減に取り組んでいる消費者」が 17.5%、「食品ロス問題について知らないし削減にも取り組んでいない消費者」が 5.9%となっている。



※1 「知っている」とは、問 23-1で食品ロス問題について「知っている」と回答した人

※2 「知らない」とは、問 23-1で「聞いたことはあるがよく知らない」または「知らない(このアンケートで初めて知った)」と回答した人

※3 「取り組んでいる」とは、問 26 で食品ロス削減のためにいずれかの取組をしていると回答した人

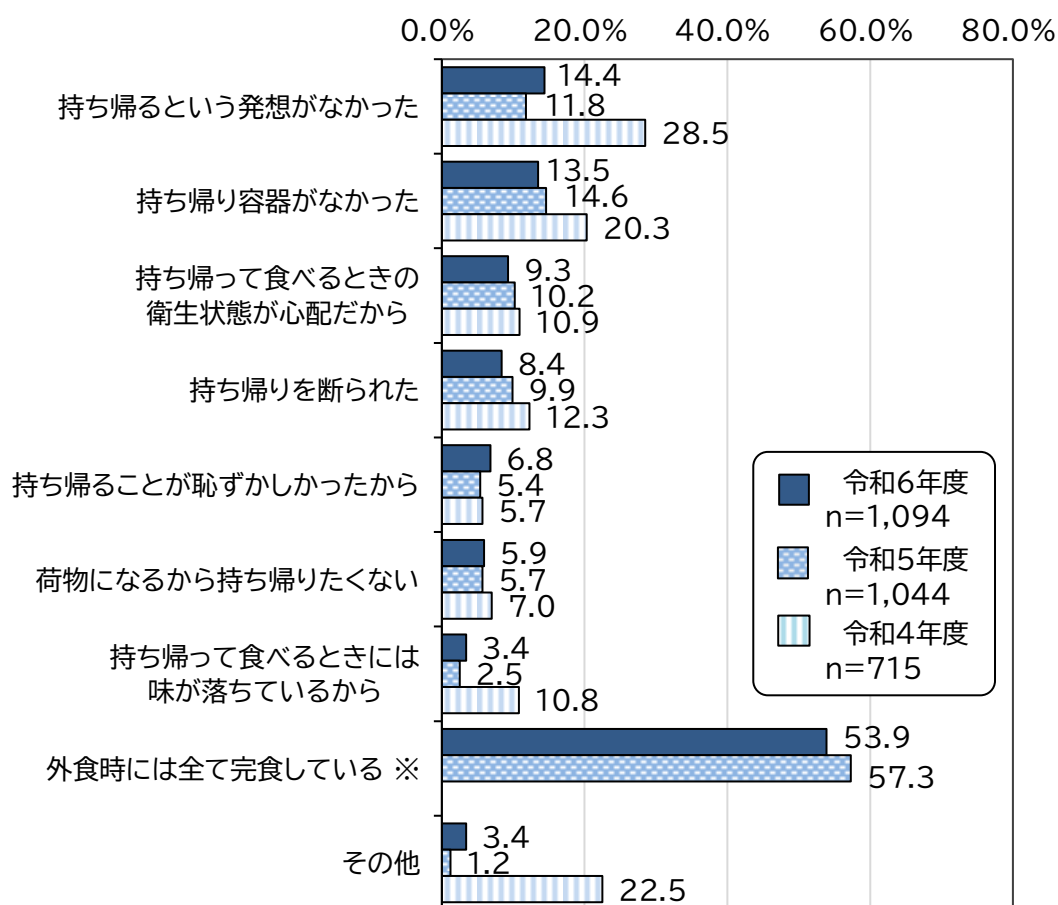
※4 「取り組んでいない」とは、問 26 で「食品ロス削減のために取り組んでいることはない」と回答した人

問 27. あなたが、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰りしなかった理由は何ですか。

(複数回答)

※n=問26 で「外食時、注文して食べきれなかった料理は持ち帰る」を選択しなかった人

外食時に食べきれなかった料理を持ち帰りしなかった理由について、「外食時には全て完食している」と回答した人の割合が 53.9%と最も高く、次いで「持ち帰るという発想がなかった」(14.4%)、「持ち帰り容器がなかった」(13.5%)などの順となっている。

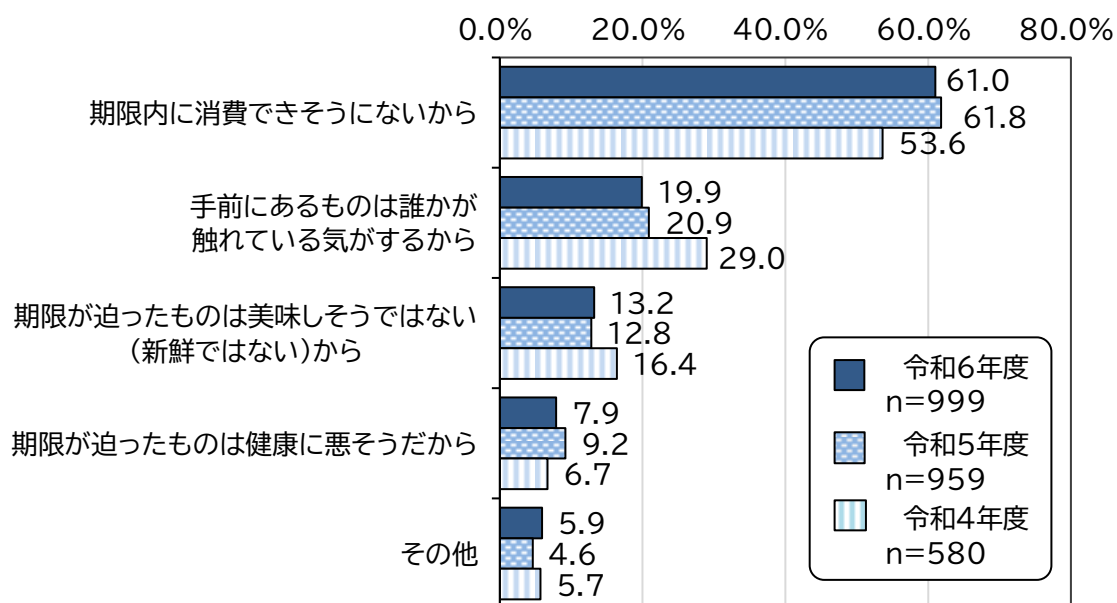


※令和4年度にはない選択肢

問 28. あなたが、「てまえどり」をしない理由は何ですか。(複数回答)

※n=問26 で「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する(いわゆる「てまえどり」)」を選択しなかった人

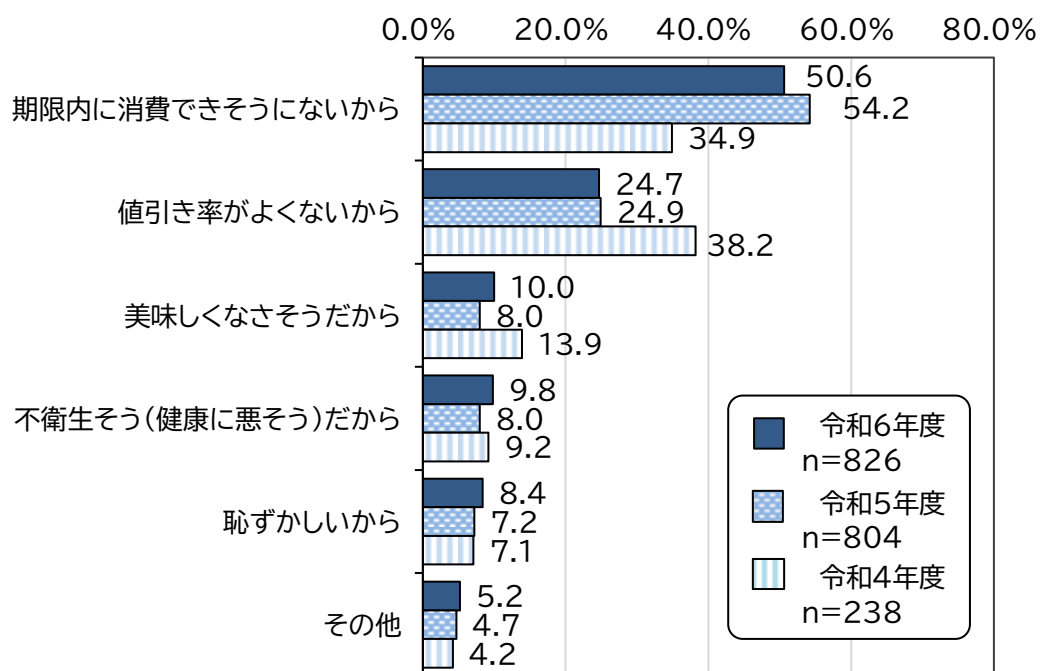
「てまえどり」をしない理由について、「期限内に消費できそうにないから」と回答した人の割合が6割を占めた。



問 29. あなたが、値引き商品を購入しない理由は何ですか。(複数回答)

※n=問26 で「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」を選択しなかった人

値引き商品を購入しない理由について、「期限内に消費できそうにないから」と回答した人の割合が50.6%と最も高く、次いで「値引き率がよくないから」(24.7%)が続いている。



5. 環境配慮商品について

問 30. 岡山県エコ製品※など、あなたが環境にやさしい商品を購入するきっかけになるのはどのような要素ですか。(複数回答)

※岡山県エコ製品:県内で製造・販売されているリサイクル製品で、県が定める認定基準を満たした製品のこと

環境にやさしい商品を購入するきっかけになる要素について、「値引きやキャンペーンなどがある場合」と回答した人の割合が 41.5%と最も高く、次いで「他の商品と同程度の価格である場合」(27.5%)、「商品の品質や性能が優れている場合」(27.2%)などの順となっている。

